

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人山武市社会福祉協議会

目 次

概要	1
重点項目	1
1. 支え合いと協働の地域づくり支援	1
2. 権利擁護と自立支援の取り組み	1
3. 社会福祉協議会の発展に向けた運営基盤の強化	2
事業	3
1. 地域福祉推進体制の充実・発展	3
【A】安心・安全な暮らしサポート	3
(1) 地域コミュニティ活動の推進	3
①地区社会福祉協議会活動の支援	3
②ふれあいいいききサロンの支援	4
(2) 在宅支援サービスの実施	5
①地域みまもりサービス事業の実施	5
②有料配食サービス事業の実施	5
③住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施	6
④福祉用具等貸出事業の実施	6
⑤介護者リフレッシュ事業の実施	7
⑥みんなの介護スクール事業の実施	7
(3) 移動手手段の支援	8
①福祉輸送サービス事業の実施	8
②福祉カー貸付事業の実施	9
③マイクロバスの貸出	9
(4) 災害時及び緊急時のサポート	10
①災害対策と災害当事者への支援事業の実施	10
②交通遺児援護基金による見舞金等の交付	11
③災害当事者への見舞金の交付	11
【B】社会参加の場の提供	12
(1) 社会活動の場と手段に関する支援	12
①山武市山武福祉センターの経営	12
②山武市成東老人福祉センターの経営	12
③おとこの料理教室事業の実施	13
④イベント開催のための物品の貸出	13

【C】豊かな暮らしサポート	*****	14
(1) 支え合いと協働の地域づくり支援（生活支援体制整備事業）		14
①第1層、第2層生活支援コーディネーターの設置		14
②各種会議等の運営		14
③高齢者の社会参加の推進		19
④市民に向けた積極的な情報発信と周知活動		21
(2) 住民参加・協働によるボランティア活動の推進		22
①ボランティア活動の相談・支援		22
②各種ボランティア・市民活動講座等の開催		24
③おもちゃ図書館の開館		26
④福祉教育の推進		27
2. 日常生活を支援するサービスの充実	*****	29
(1) 権利擁護と自立支援の取り組み		29
①成年後見推進事業の実施		29
②日常生活自立支援事業の実施（愛称：すまいる）		31
③生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化		36
④各種資金の貸付等		42
(2) 総合的な相談機能の取り組み		44
①心配ごと相談所の設置		44
②苦情解決相談の受付		45
③虐待通報の受付等		46
3. 自立生活を支援するサービスの提供	*****	48
(1) 介護サービス関連の取り組み		48
①介護保険法に基づく第1号訪問事業（訪問型サービスA）の実施		48
(2) 障害福祉サービス関連の取り組み		48
①移動支援事業の実施		48
②山武市福祉作業所の経営		49
③山武市簡易マザーズホームの経営		55
4. 社会福祉協議会の基盤強化	*****	57
(1) 組織・運営に関すること		57
①評議員会・理事会・監査機能の充実		57
②委員会機能の充実		59
③働き改革への対応		60

④	社会福祉協議会発展・強化計画の推進	60
⑤	事務所の検討	60
(2)	財務に関すること	61
①	月次収支状況の分析	61
②	指定管理施設の運営分析	61
③	会員加入促進（会員募集）	61
④	赤い羽根共同募金運動の実施	62
⑤	歳末たすけあい募金運動の実施	63
⑥	日本赤十字社社資募集運動の実施	64
⑦	チャリティイベントの実施	64
⑧	自主財源の確保（その他）	65
⑨	寄附金品	65
(3)	人材確保・育成に関すること	66
①	人材確保・育成（実習生の受け入れ）	66
②	職員研修会の実施	66
(4)	広報・啓発に関すること	67
①	広報誌「きずな」の発行	67
②	リーフレット・チラシの作成	67
③	ホームページの充実	67
④	第17回山武市社会福祉大会の開催	68
⑤	社協福祉活動の出前講座の実施	69
⑥	イメージキャラクター「さんむくん」の着ぐるみ作製	69
(5)	福祉団体の支援	70
①	山武市ボランティア連絡協議会	70
②	山武市身体障害者福祉会	70
③	山武市手をつなぐ親の会	70
④	山武市赤十字奉仕団	71
⑤	山武市ゴールドクラブ連合会	71
(6)	第3次地域福祉活動計画の推進と第4次地域福祉活動計画の策定	72
①	山武市地域福祉活動計画推進委員会	72
②	計画の実践・評価・見直し体制の強化	72
③	山武市地域福祉活動計画策定委員会	73

令和4年度事業報告

【概要】

長引くコロナ禍の中、感染防止のため、事業の縮小や中止を余儀なくされ、本協議会が運営する障害福祉サービス事業所では、やむを得ず休所せざるを得なくなるなど、依然と多くの影響を受けた年でした。

このような状況の中、市民が安心して暮らし続けることができるように、感染対策を講じながら、在宅福祉サービスの提供及び地域福祉活動をすすめてきました。

また、4か年計画である第4次地域福祉活動計画を策定し、基本理念である「だれもが生きがいをもって安心して暮らせるまちづくり」を目指し、発展・強化計画とともに着実にすすめていきます。

【重点項目】

1. 支え合いと協働の地域づくり支援

- ・市受託事業の生活支援体制整備事業において第1層・第2層生活支援コーディネーターを設置し、市や他団体とつながり協力しながら各事業を展開しました。また、地域の個別ニーズに対し社会資源を紹介し相談者が地域の中で自立できるよう支援を行いました。
- ・山武市と筑波大学の協働プロジェクト「転倒骨折予防プロジェクト」については、年間を通じ関連する事業に取り組み、市民ボランティア、ゴールドクラブ、企業の協力者、福祉作業所、成東図書館、シルバー人材センターなど多様な団体と共に福祉活動に取り組む活動を進めました。
- ・自らこころとからだの健康づくりをすすめる通いの場の運営団体の支援や認知症問題への取り組みをすすめる市民活動を応援する「さんむオレンジチーム」、自ら情報を集めたり新たにコミュニケーションを広げる力をたかめる「新たなつながり作り推進プロジェクト」の活動を応援し市民同士の互助活動の取り組みを推進しました。

2. 権利擁護と自立支援の取り組み

(1) 成年後見制度の利用促進

- ・法人後見業務として、被後見人の意思を尊重し関係機関と連携を取りながら、安心して暮らし続けることができるように支援を行いました。支援内容が複雑化していることから、後見活動を行う支援員の育成に取り組むなど体制を整備することが急務と考えます。

(2) 生活困窮者自立支援制度事業の充実強化

- ・生活就労相談室に職員4名（相談員3名及び事務担当1名）を配置し、生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施しました。コロナ禍の影響により多くの新規相談があり、解決に向け関係機関の協力を得ながら、きめ細かな対応に努めました。

(3) 虐待防止への取り組み

- ・虐待防止を図るため、虐待防止委員会を設置し、虐待防止のための計画づくりや虐待発生後の対応方法などについて協議し、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように整備しました。
- ・虐待防止対応責任者を配置し、職員へ虐待に関する事項について周知しました。また、障害福祉サービス事業所では、職員が毎月チェックリストを実施し、利用者への支援や現場が抱える課題など常に状況把握することで、虐待防止に繋がると考えます。

3. 社会福祉協議会の発展に向けた運営基盤の強化

(1) 社会福祉法人の健全な運営

- ・理事会を業務執行に関する意思決定機関として位置付け、事業をすすめました。
- ・安定した法人運営を行うため、毎月収支状況の確認及び分析を行い、事業に見合った適正な支出管理に努めました。

【事業】

1. 地域福祉推進体制の充実・発展

【A】安心・安全な暮らしサポート

(1) 地域コミュニティ活動の推進

①地区社会福祉協議会活動の支援

目的と概要	小地域の地域福祉活動を推進するため市内13の地区に地区社会福祉協議会を設置し、市民の福祉の増進を図ることを目的に当該地区の実情に即した地域福祉活動の支援を行いました。
考 察	<p>年度前半はコロナの影響で控えめな活動となった地区が多いようでしたが、コロナ禍でも地域のコミュニティを活かした地道な訪問型の活動をそれぞれの地区で展開していただいたと思います。後半になり新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきて、交流を主とする事業も始まり顔を合わせる活動が地域の方々から好評という感想がありました。</p> <p>また、本年度は地域福祉活動計画策定の中で、各地区の活動目標を検討・協議していただき取り組みをまとめることができました。</p>
設置数等	<p>成東地域 5か所（成東地区・大富地区・南郷地区・鳴浜地区・緑海地区）</p> <p>山武地域 4か所（睦岡地区・山武北地区・日向東地区・日向西地区）</p> <p>蓮沼地域 1か所（蓮沼地区）</p> <p>松尾地域 3か所（豊岡地区・松尾地区・大平地区）</p> <p>合計 13か所</p>
実 績	<p><地区社協連絡会></p> <p>【第1回】</p> <p>期 日 令和4年 7月 5日（火）</p> <p>場 所 成東老人福祉センター 第1会議室</p> <p>【第2回】</p> <p>期 日 令和4年12月23日（金）</p> <p>場 所 成東老人福祉センター 大会議室</p> <p>【第3回】</p> <p>期 日 令和5年 3月17日（金）</p> <p>場 所 成東老人福祉センター 大会議室</p> <p><地区社協役員研修及び情報交換会></p> <p>期 日 令和4年10月 7日（金）</p> <p>場 所 松尾 IT 保健福祉センター 多目的室等</p> <p>内 容 全体会：補助金について説明</p> <p>分科会：各役職別研修</p> <p>全体会：各役職から報告・情報交換など</p> <p><地区社協福祉推進員研修会></p> <p>期 日 令和5年 3月 8日（水）</p> <p>場 所 農村環境改善センター松尾ふれあい館 多目的ホール</p> <p>内 容 講演：「地区社会福祉協議会の活動について」</p> <p>千葉県社会福祉協議会 地域福祉推進部長 会田 肇 氏</p>

	<p>《地域福祉活動計画地区別活動目標の検討・協議》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 7月 第1回地区社協連絡会にて説明と協力依頼 ○ 8月～10月 各地区社協役員会、福祉推進員会議等へ参加や福祉推進員へのアンケート調査などで協議検討をすすめた ○ 12月 第2回連絡会でまとめた各地区の取り組みを報告 ○ 3月 第3回連絡会で地域福祉活動計画の策定を報告
--	---

②ふれあいいきいきサロンの支援

目的と概要	子どもから高齢者が地域の中で楽しい仲間づくりを進めることにより、いきいきした活力や生きがいを得ることを目的として、ふれあいいきいきサロン事業の推進を行いました。
考 察	長引くコロナウイルスの影響で開催が難しい中、感染予防に努め開催したサロンが多くみられました。一方では休止や解散となり団体数が減少。今後とも市内全体にサロンが増えるようPR活動に努めていきます。
実 績	補助金交付 25か所のサロン (うち3回以上20サロン, 2回以上2サロン, 未実施3サロン)

(2) 在宅支援サービスの実施

①地域みまもりサービス事業の実施

目的と概要	月1回定期的に高齢者宅を訪問することで地域との交流を促進し、孤独感の解消を図るとともに安否確認を行うことを目的に各地区で実施しました。				
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、例年どおり実施しました。				
実 績	民生委員や福祉推進員が安否確認のためにお弁当または軽飲料を持参し訪問しました。				
	地域名	利用者数	実施回数	延べ利用者数	延べ訪問協力者数
	成東地域	1名	12回	12名	12名
	山武地域	17名	12回	176名	109名
	松尾地域	3名	12回	33名	24名
	合 計	21名	36回	221名	145名

②有料配食サービス事業の実施

目的と概要	日常生活に支障のある市内に居住するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯及び心身障がい者を対象とし、生活状態や健康状況、経済状態等を考慮し、食生活の確保、改善を通して健康保持を図り、在宅生活を支えることを目的として実施しました。					
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、実施しました。 また、定期的に訪問することで、利用者の体調の変化に気づくことができました。					
実 績	各地域の事業者へ弁当の製造と配達を依頼し、対象者への支援活動を実施しました。【※蓮沼地域及び松尾地域はボランティアが配達】					
	地域	配達回数(日)	利用者(3月末)	延べ利用者数	延べ配食数(内補助有)	委託業者
	成東	96回	9名	109名	653食(564食)	・みっちゃんのなおや ・まごころ弁当山武店
	山武	94回	11名	116名	679食(613食)	・光明会
	蓮沼	82回	1名	35名	155食(91食)	・みっちゃんのなおや ・まごころ弁当山武店
	松尾	96回	3名	32名	250食(211食)	・みっちゃんのなおや ・油屋トトズキッチン
	合計	368回	24名	292名	1,737食(1,479食)	

③住民参加型在宅福祉（家事援助）サービス事業の実施

目的と概要	支援を必要とする方に対して、日常の生活支援（買物や手続きの代行・住居の掃除・食事の支度・見守りや話し相手・外出付添い等）を行うサービスを提供しました。																		
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施しました。																		
実 績	<p>【会員数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>成東</th> <th>山武</th> <th>蓮沼</th> <th>松尾</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用会員</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>協力会員</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計	利用会員	16	14	3	3	36	協力会員	12	5	4	2	23
	地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計													
	利用会員	16	14	3	3	36													
	協力会員	12	5	4	2	23													
	<p>【活動実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>成東</th> <th>山武</th> <th>蓮沼</th> <th>松尾</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ活動回数</td> <td>171</td> <td>156</td> <td>7</td> <td>24</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計	延べ活動回数	171	156	7	24	358						
地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計														
延べ活動回数	171	156	7	24	358														
<p><協力会員研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 令和5年2月26日（日） ・場 所 成東老人福祉センター 大会議室 ・参加者 4名 																			

④福祉用具等貸出事業の実施

目的と概要	低所得世帯や介護保険非該当者等に福祉用具を貸出し、在宅介護及び生活を側面的に支援し福祉サービスの向上を図ることを目的に行いました。															
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、用具貸出、返却時に消毒等を行いました。また、利用者に再度、消毒等の依頼をしました。貸出用具の見直しを行いました。															
実 績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>福祉用具名</th> <th>貸出件数</th> <th>延べ貸出台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車椅子</td> <td>103件</td> <td>125台</td> </tr> <tr> <td>介護ベッド</td> <td>1件</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>エアーマット</td> <td>0件</td> <td>0台</td> </tr> <tr> <td>チャイルドシート</td> <td>1件</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table>	福祉用具名	貸出件数	延べ貸出台数	車椅子	103件	125台	介護ベッド	1件	1台	エアーマット	0件	0台	チャイルドシート	1件	1台
	福祉用具名	貸出件数	延べ貸出台数													
	車椅子	103件	125台													
	介護ベッド	1件	1台													
	エアーマット	0件	0台													
チャイルドシート	1件	1台														

⑤介護者リフレッシュ事業の実施

目的と概要	現在、家族の介護をされている介護者等を対象に、介護に関する相談会、交流会を行うことにより身心のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。	
考察	交流会やレクリエーションを通じて、介護による負担の軽減をはかりました。	
第1回	期日	令和5年1月25日(水)
	会場	山武福祉センター
	参加者	13名
	内容	(1) コープみらいの在宅サービス等についての活動紹介 (2) 社協の在宅サービスについて紹介 (3) 参加者による自己紹介や介護体験について意見交換等
第2回	期日	令和5年3月16日(木)
	会場	山武の森文化ホール
	参加者	18名
	内容	(1) 「アニマート」による生演奏をバックに参加者が歌って楽しく過ごす (2) 参加者による自己紹介や介護体験について意見交換等

⑥みんなの介護スクール事業の実施

目的と概要	介護について関心のある方に対し、介護などに関する講習会を行うことにより介護の知識、技術を身につけ、もって在宅福祉の推進を図ることを目的に実施しました。	
考察	介護技術向上のための講座と、多くの方の関心事である終活についてを研修テーマとしました。	
第1回	期日	令和4年12月21日(水)
	会場	さんぶの森中央会館
	参加者	15名
	内容	【講義】 1 「体に優しい介護術の紹介」ビデオ 2 「健康寿命と平均寿命の狭間で」～断捨離と終活は必要ですか～ 講師：林 喜一氏 (フューネラルプランナー)
第2回	期日	令和5年3月30日(木)
	会場	山武福祉センター
	参加者	13名
	内容	【講義】 「誰でもわかる介護サービスのしくみ」 講師：佐々木久美子氏 (ケアマネージャー)

(3) 移動手段の支援

①福祉輸送サービス事業の実施

目的と概要	単独で公共交通機関の利用が困難な移動困難者（介護保険認定者、身体障害手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳所持者等）に対して外出支援を行うサービスを提供しました。																														
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止に努め事業を実施しました。運転者講習会を開催したことにより、協力会員の確保につながりました。 なお、協力会員が不足しているため、今後も協力会員の確保に努めていきます。																														
実 績	<p>【会員数】</p> <table border="1" data-bbox="395 651 1369 831"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>成東</th> <th>山武</th> <th>蓮沼</th> <th>松尾</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用会員</td> <td>50</td> <td>45</td> <td>17</td> <td>26</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>協力会員</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>【活動実績】</p> <table border="1" data-bbox="395 887 1369 1003"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>成東</th> <th>山武</th> <th>蓮沼</th> <th>松尾</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ活動回数</td> <td>1,254</td> <td>1,290</td> <td>277</td> <td>613</td> <td>3,434</td> </tr> </tbody> </table> <p><福祉有償運送運転者講習及びセダン等運転者講習会> 期 日 令和4年11月19日（土）～20日（日） 場 所 成東老人福祉センター 大会議室 修了者 10名 登録者 協力会員登録4名</p> <p><山武市福祉有償運送運営協議会> 期 日 令和4年12月20日（火） 場 所 山武市役所 第4会議室</p> <p><協力会員研修会> 期 日 令和5年2月26日（日） 場 所 成東老人福祉センター 大会議室 参加者 11名</p>	地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計	利用会員	50	45	17	26	138	協力会員	12	5	5	4	26	地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計	延べ活動回数	1,254	1,290	277	613	3,434
地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計																										
利用会員	50	45	17	26	138																										
協力会員	12	5	5	4	26																										
地 域	成東	山武	蓮沼	松尾	計																										
延べ活動回数	1,254	1,290	277	613	3,434																										

②福祉カー貸付事業の実施

目的と概要	心身障がい者及び高齢者の社会参加を促進し、福祉の向上を図ることを目的に車両の貸出しを行いました。					
考 察	貸出車両の消毒、清掃を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。 安全運行、事故防止対策として、エブリイ（事務局）にスタッドレスタイヤを取り付けました。					
実 績	車両名		一般貸出	福祉輸送	合計	
			件数	件数	件数	
	ゆうあい成東号（キャラバン）		10	37	47	
	ゆうあい山武号（キャラバン）		42	0	42	
	ゆうあい蓮沼号（キューブ）		18	51	69	
	ゆうあい松尾号（キャラバン）		4	2	6	
	福祉車両	エブリイ（事務局）		71	17	88
		N-BOX（松尾連絡所）		11	62	73
	介護車両	ワゴンR（山武連絡所）		2	222	224
		ムーヴ（蓮沼連絡所）		14	134	148
	合計		172	525	697	

③マイクロバスの貸出

目的と概要	地区社会福祉協議会や社会福祉団体等が実施する事業などへマイクロバスの貸出しを行いました。													
考 察	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりコロナ禍前よりマイクロバスの貸出実績が低迷していますが、昨年度よりマイクロバスの貸出実績は増加しており、徐々に回復傾向にあります。													
実績	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	回数	0	1	2	1	0	3	3	3	2	2	2	6	25

(4) 災害時及び緊急時のサポート

①災害対策と災害当事者への支援事業の実施

<災害支援ボランティア講座の開催>

目的と概要	災害支援ボランティア活動に対する知識と理解を深め、ボランティアとしての意欲の高揚や資質向上を図り、参加者が地域のリーダーとなって活動することで地域防災の増進に寄与することを目的として開催しました。
考 察	市民の防災意識を高めるため、防災かるたを活用した講義とワークショップを通じて防災知識の普及活動を行いました。
期 日	令和5年2月23日（木）
場 所	成東老人福祉センター 大会議室
参加者	36名
内 容	さんむ防災かるたを使って防災、減災について学ぶ

<災害時における支援体制の整備>

目的と概要	山武市防災担当課と情報交換会議を開催し、今後災害発生時には互いに連携を行う取り決めについて話し合いを重ね有事対応に備えました。 また、本年度は地域防災計画の更新年度となり、その更新と合わせ「災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定」についても協議をすすめました。
考 察	市の防災に関する基本計画「山武市地域防災計画」に社会福祉協議会との連携と役割について明記していただいたことは、災害時に社会福祉協議会として活動する内容が明確になり市との連携がスムーズになると考えられます。 また、市と協定を締結したことで、災害ボランティアセンターの設置と運営に関して、市からの明確な受援体制を確立することができたと考えます。
実 績	<地域防災計画に関する協議> ・地域防災計画の内容について関係職員で確認 ・市消防防災課防災係、市民自治支援課担当者との協議 <災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定について協議> ・協定書の内容について協議 ・大規模災害時の災害ボランティアセンター設置予定場所として「成東文化会館のぎくプラザ」と明記した。 ・令和5年3月1付けで市と「災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定」を締結した。

②交通遺児援護基金による見舞金等の交付

目的と概要	陸上交通事故などで父母等を失った18歳未満の交通遺児激励のために見舞金など担当民生委員を通じて交付しました。
考 察	対象となる方を調査し、高校卒業祝いの激励金と大学受験費用の助成金の交付を行いました。担当民生委員の交代により新たに担当となった民生委員とご家族をつなげる支援を行いました。
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業祝い激励金の交付 1名 ・大学受験費用助成金の交付 // (上記と同一者)

③災害当事者への見舞金の交付

目的と概要	火災、風水害及び地震その他自然災害による被災者で援護を必要とする者を救済するため、見舞金を交付しました。(社協災害見舞金・共同募金会災害見舞金・赤十字災害救援見舞金各規程に基づく)
実 績	全焼3件(1件当たり市社協50,000円、共同募金10,000円、赤十字5,000円及び物資)

【B】社会参加の場の提供

(1) 社会活動の場と手段に関する支援

①山武市山武福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である地域住民の福祉の推進及び福祉意識の高揚を図る場として、会議室等の貸出を行いました。
考 察	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、使用人数制限等を行ったことによりコロナ禍前に比べ減少していますが、徐々に回復傾向にあります。
利用実績	施設利用実績 1, 504名 貸出延べ回数 444回
避難訓練	【自主訓練】 令和5年3月10日（金）

②山武市成東老人福祉センターの経営

目的と概要	施設の設置目的である高齢者の健康増進、教養の向上並びにレクリエーションの場として、会議室等の貸出及び自主事業を開催しました。
考 察	昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、使用人数制限等を行ったことによりコロナ禍前に比べて減少していますが、昨年度より利用実績が増加しており、徐々に回復傾向にあります。
利用実績	施設利用実績 8, 338名 貸出延べ回数 717回
避難訓練	<p>【第1回】 期 日 令和4年 6月13日（月） 参加者 成東老人福祉センター・簡易マザーズホーム・成東福祉作業所 ※東消防署員立会いのもと実施しました。</p> <p>【第2回】 期 日 令和4年12月14日（水） 参加者 成東老人福祉センター・簡易マザーズホーム・成東福祉作業所 ※東消防署員立会いのもと実施しました。</p>
自主事業等	<p><高齢者向けの「はじめてスマホ教室」> 【第1回】 期 日 9月1日・9月7日・9月15日・9月22日・9月29日 (全5回) 参加者 15名(延べ91名)</p> <p><自主団体への協力> ○脳トレ健康教室 ○健康麻雀教室等</p>

③おとこの料理教室事業の実施

目的と概要	料理（調理）の知識や経験の少ない男性（概ね 60 歳以上）を対象に基本的な指導を行い、自身の食生活自立及び家族の健康を保つ一助とするため実施しました。また、教室参加を通じて仲間作りや親睦を図りました。			
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飲食をせず、調理品を持ち帰りとしたため、食中毒の注意喚起に努めました。 今後の事業実施の参考のためアンケート調査を実施しました。調理の経験を活かし社会参加をしてみたいという希望が多くみられたので、今後は社会福祉協議会の事業への参加に繋げていきます。			
実 績	会場	場 所	会員人数	参加延べ人数
	成東	松尾 I T 保健福祉センター調理室	15 名	68 名（8 回）
	山武	さんぶの森中央会館調理実習室	11 名	53 名（8 回）
	蓮沼	蓮沼交流センター調理室	15 名	73 名（7 回）
	松尾	松尾 I T 保健福祉センター調理室	11 名	71 名（8 回）
	合 計		52 名	265 名（31 回）

④イベント開催のための物品の貸出

目的と概要	地域福祉活動（交流）を目的としたイベントなどを中心に物品貸出しを行いました。			
考 察	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント等の開催が少なく、物品の貸出件数も減少しています。			
実 績	物品名	貸出件数	物品名	貸出件数
	ポップコーン製造機	0 件	もちつき機	0 件
	わたあめ製造機	0 件	ステージ用具（平台）	1 件
	かき氷機（電動）	4 件	ステージ用具（コンテナ）	1 件
	鉄板（ガス用）	0 件	天幕テント	3 件
	発電機	1 件	机（長テーブル）	2 件
	臼・杵	2 件	イス	1 件

【C】豊かなくらしサポート

(1) 支え合いと協働の地域づくり支援（生活支援体制整備事業）

①第1層、第2層生活支援コーディネーターの設置

＜生活支援コーディネーターの配置＞

目的と概要	<p>地域高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みを推進するために第1層（市域）生活支援コーディネーター1名（社協職員）を配置しました。</p> <p>また、小域の地域活動を調査し、その活動支援と多様な活動者同志のつながり作りを行う第2層（小地域）の生活支援コーディネーター3名（市民）を配置しました。</p>
考 察	<p>第1層生活支援コーディネーターは、転倒骨折予防プロジェクトに係り「生活機能モニタリング測定会」やゴールドクラブと協働した「いきいきわくわく教室」の開催など積極的に高齢者支援の仕組みづくりに取り組みました。</p> <p>また、市民が自らこころとからだの健康づくりを進められるように「通い・集い・交流の居場所運営費補助金」の交付団体の増加と活動支援に努めました。</p> <p>第2層生活支援コーディネーターは、「転倒骨折予防プロジェクト」への協力や「認知症オレンジチーム」への参画など市民の立場でできる高齢者への支援体制づくりを推進しました。</p>
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者を支援するためのサービスや活動を行う組織をつなげ、ネットワークを構築しました。 ○生活支援サービスや地域の担い手を養成、高齢者の生活を支援する新たなしくみづくりを行いました。 ○第1層・第2層生活支援コーディネーターとして、具体的なケース事例から地域の課題を把握し、協議体の活動につなげる会議へ参加しました。 ○市民が自ら健康維持と健康づくりのための運動を行うためのプログラムを様々な機会に周知しました。 ○第2層生活支援コーディネーターとして、通い・集い・交流する居場所づくりを行うボランティアグループ等の活動を支援するとともに必要な情報提供を行いました。

②各種会議等の運営

＜地域包括支援センター運営協議会への参加＞

目的と概要	<p>市地域包括支援センターの運営に関して協議する会議に、生活支援コーディネーターとして参加しました。</p>
考 察	<p>市内3つの地域包括支援センターの活動や運営に関し報告を受け協議をする中で、市の活動状況を把握し地域福祉活動とのつなぎ役としての課題を整理するように努めました。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営協議会 令和4年 6月30日（木） 市役所会議室 ○第2回地域包括支援センター運営協議会及び地域密着型サービス運営協議会 令和4年11月24日（木） 市役所会議室

<地域ケア会議への参加>

目的と概要	地域包括支援センターが主催し、歯科医師、理学療法士、作業療法士、薬剤師、主任ケアマネ、栄養士、地域包括職員等が集い、介護予防サービス等の支援を受けている高齢者の自立支援に向けた会議へ、生活支援コーディネーターとして参加し、対象者が地域で豊かに生活できるよう地域活動やサービスの紹介とつなぎ役として助言を行いました。
考 察	地域ケア会議の中であがった個別ケースの中には、歩行困難で在宅生活は送れるが地域の集いの場や交流できる場所までの移動が困難な方や大勢の中での交流は苦手な方が多くみられました。今後は通い交流できる居場所づくりともに自宅で豊かな生活ができる仕組みづくりが必要と考えられます。
実 績	10回実施（令和4年5月から令和5年2月まで） ※成東地域包括圏域6ケース、松尾蓮沼地域包括圏域4ケース 山武地域包括圏域4ケース ※個別ケース事例を専門職が協議し意見交換を行う

<転倒骨折予防プロジェクトへの参画と協働事業の実施>

目的と概要	山武市と筑波大学が協働で行う「転倒骨折予防プロジェクト」へ参画し、転倒し骨折から重度の介護状態となる市民を減らすための取り組みを実施しました。高齢者が自分の体の現在の状況を把握し、今後の健康づくりに役立ててもらうための「生活機能モニタリング測定会」や高齢者に介護予防や転倒リスクについて考えてもらえる機会を提供する「いきいきわくわく教室」、日常生活に生きがいを持つことで健康維持の意欲を高めてもらうための「はなまるサロンさんむ」を実施しました。
考 察	<ul style="list-style-type: none"> ○「生活機能モニタリング測定会」には第2層生活支援コーディネーターとともに8名もの市民ボランティアが協力してくださることになりました。また、シルバー人材センター会員や図書館からの紹介で地元企業の有志の方の参加もあり、市民が市民を支える仕組みとして市民参加型の活動となってきています。 ○「いきいきわくわく教室」の中ではゴールドクラブだけでなく多くの団体が協力し開催する事で多様な組織と連携する新たな取り組みとなりました。 ○「通い・集い・交流の居場所づくり」のボランティア団体にも体験していただきながら、地域の中で転倒のハイリスク者やフレイル（虚弱）状態にある方などを見つける『地域目』としての活動もすすめることができました。 ○「はなまるサロンさんむ」については、開催の周知を広くできるような仕組みづくりについての課題が残りました。

《関係者会議》 ※Zoom開催

期 日 令和4年5月から第1木曜日で定例化

参加者 陣内教授、高齢者福祉係、地域包括支援センター、図書館、
シルバー人材センター、さんむ医療センター、千葉ワ都市開発（株）
第1層生活支援コーディネーター

＜ホームページの開設＞

期 日 令和4年10月から山武市ホームページの中に掲載

＜生活機能モニタリング測定会＞

期 日 令和4年4月から原則月1回実施

会 場 蓮沼交流センター 1階 イベントスペース

内 容 測定種目：身長・体重、体組成、骨強度、握力、立ち上がり、
構音、嚙下、聴力、視力、巧緻、姿勢保持、移動
相談コーナー：測定結果を踏まえ健康づくり生きがいつくりの
アドバイスを行う

＜いきいきわくわく教室＞※ゴールドクラブ主催事業と協同実施

【第1回】※新型コロナウイルス感染拡大のため中止

期 日 令和4年 7月29日（金）

会 場 松尾ふれあい館

内 容 講演：「転倒・骨折から身を守ろう！」

さんむ医療センター理学療法士 相内一成 氏

実 績

【第2回】

期 日 令和4年 9月 9日（金）

会 場 成東文化会館のぎくプラザ

参加者 72人

内 容 講演：「日常生活に必要な基礎体力を知ろう！」

日本医科大学 筑波大学客員研究員 陣内裕成 氏

各ブース：・GCレク（ビーンボールリング・室内パタック・会員募集）

・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度）

・福祉作業所（手作り品の販売）

・シルバー人材センター（小物販売・健康チェック視力・握力）

・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り）

【第3回】

期 日 令和4年11月29日（火）

会 場 さんぶの森中央体育館

参加者 112人

内 容 講演：「専門家に聞いてみよう！高齢者の病気とその予防」

さんむ医療センター総合診療課医師 武田隼里子氏

管理栄養士 三橋みずき氏

理学療法士 渡邊慎也氏

各ブース：・GCレク（ビーンボールリング・室内パタック・会員募集）

・千葉薬品（健康チェック体組成・骨密度）

・福祉作業所（手作り品の販売）

・シルバー人材センター（小物販売・健康チェック視力・握力）

・成東図書館（スタンプラリー・しおり作り）

【第4回】

期 日 令和5年 1月12日 (木)

会 場 蓮沼交流センター

参加者 54人

内 容

講演：「転倒骨折から骨を守ろう！」

さんむ医療センター整形外科 医師 石川哲大氏

管理栄養士 盛 晃彦氏

理学療法士 相内一成氏

各ブース：・GCレク (ビーンボ-リング・室内ペ-タンク・会員募集)

・千葉薬品 (健康チェック体組成・骨密度)

・福祉作業所 (手作り品の販売)

・シルバー人材センター (小物販売・健康チェック視力・握力)

・成東図書館 (スタンプラリー・しおり作り)

・ベルスズキ (補聴器の相談)

【第5回】

期 日 令和5年 3月 7日 (火)

会 場 成東文化会館のぎくプラザ

参加者 57人

内 容

講演：「脳健康チェック！いろいろな認知機能診断」

九十九里病院リハビリテーション科 作業療法士 芝井孝祐氏

各ブース：・GCレク (ビーンボ-リング・室内ペ-タンク・会員募集)

・千葉薬品 (健康チェック体組成・骨密度)

・福祉作業所 (手作り品の販売)

・シルバー人材センター (小物販売・健康チェック視力・握力)

・成東図書館 (スタンプラリー・しおり作り)

・ベルスズキ (補聴器の相談)

<はなまるサロンさんむ>

【第1回】

期 日 令和4年10月26日 (水)

会 場 成東文化会館のぎくプラザ

内 容

おしゃべり&相談コーナー

雑巾づくり→社協へ寄附 (生きがい作り)

折り紙

薬剤師さんの相談

参加者 20名

〔内訳〕参加者1名

薬剤師2名

シルバー関係者6名

図書館2名

陣内先生

高齢者福祉課2名

ベルスズキ1名

社協2名

城西国際看護学部実習生3名 (見学)

【第2回】

期 日 令和4年12月13日（火）

会 場 さんぶの森中央会館

内 容 自己紹介、裁縫、しおり、薬剤師相談、補聴器相談

参加者 14名

〔内訳〕参加者5名（一般1名、ゴールド3名、シルバー1名）

薬剤師1名（並木薬局） シルバー関係者5名

図書館スタッフ2名 ベルスズキ1名

【第3回】

期 日 令和5年2月10日（金）

会 場 蓮沼交流センター

内 容 おしゃべり&相談コーナー

雑巾、しおり、大人向け絵本、服薬相談

参加者 9名

〔内訳〕参加者0名

薬剤師1名（笹原薬局） 社協2名

シルバー関係者4名 図書館スタッフ1名

ベルスズキ1名

③高齢者の社会参加の推進

＜山武市地域包括支援センター運営協議会部会(やさしいおもいでささえあおう会)の運営＞

<p>目的と概要</p>	<p>高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って安心して在宅生活を継続していくために、医師、地域の生活支援・介護予防サービスを担う施設や事業所、福祉関係団体、ボランティア活動団体等と連携し協議するため、会議を開催しました。</p>
<p>考 察</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で多くの関係者が集う会議を開催することが難しい中、感染の減少がみられた時期に協議体の会議を開催することができました。コロナ禍で協議体参加者が集い課題解決に向けた活動ができなくなっていたので、これまでの活動を確認するとともに今後の活動は地域性を踏まえ小域の協議が進められるように進めていくように協議しました。</p>
<p>実 績</p>	<p>○協議体関係者が集い、本年度までの活動報告、地域ケア会議の報告と課題の共有、いちご手帳の更新、買い物支援サービスの構築、黄色いハンカチ運動(仮称)、について説明し、旧町村単位でのグループ協議を行いました。</p> <p>＜やさしいおもいでささえあおう会＞ 期 日 令和4年11月24日(木) 場 所 山武市役所 大会議室 参加者 28名</p> <p>○「認知症問題への取組み」検討チームとして、市の『認知症啓発イベント』映画上映会の周知と運営を支援しました。</p> <p>＜映画上映会＞ 期 日 令和4年11月25日(金) ※昼、夜2回上映 場 所 成東文化会館のぎくプラザ ホール 参加者 242名(昼の部：167名、夜の部：75名)</p> <p>○高齢者や家族の相続や終活問題に対して、気軽に相談できる仕組みづくりに努めました。</p> <p>＜安心相続・終活相談会＞ 期 日 年度当初、毎月第1・第3金曜日の予約制で開始しましたが、移動困難な高齢者への相談対応についてアドバイザーと協議し年度の後半から電話対応を原則とし必要があれば面接で相談できるように変更しました。(必要に応じ在宅訪問も可)</p> <p>相談件数 21件(前年度19件)</p>

<通いの場の活動支援>

目的と概要	地域の高齢者が集い交流できる居場所を運営するボランティアグループに対し「集い・通い・交流の居場所運営費補助事業」として補助金の交付し、地域高齢者の主体的な「こころと体の健康づくり」を推進しました。
考 察	コロナ禍で活動方法に大変苦慮していましたが、気心の知れた中での活動は地道に進められていました。地域の高齢者自身が感染対策を意識しながら健康づくり活動をすすめています。今後も、こころと体の健康づくりをしたいというニーズを拾い、市民が主体的に活動できるように支援していきたいと考えます。
事業内容	○補助金交付ボランティア団体 合計 22グループ (昨年度 18グループ) 月 1 回以上活動するグループ 4グループ 190,000 円 月 2 回以上活動するグループ 10グループ 1,080,000 円 週 1 回以上活動するグループ 8グループ 1,460,000 円

<福祉有償運送運転者講習及びセダン等運転者講習会>

目的と概要	高齢者の買い物支援サービス検討チームの活動と社会福祉協議会が実施している福祉輸送サービス事業の担い手育成のため研修会を実施しました。
考 察	買い物支援に携わる市民ボランティアの育成と高齢者の移動支援の仕組みづくりの一環として研修会を開催していますが、参加者が仕組みづくりにつながっていないことが課題になっています。
事業内容	期 日 令和4年11月19日(土)～20日(日) 場 所 成東老人福祉センター 大会議室 修了者 10名

<新たなつながりづくり推進プロジェクト>

目的と概要	新たなつながり作り推進プロジェクトとして、コロナ禍での新しいコミュニケーションを広げることや災害時などに自ら情報を集めたりすることができる高齢者を増やすための講座を開催しました。
考 察	○講座の修了者による自主グループの活動が定着し講座に参加しない方の受け入れも可能になってきました。また、本年度の講座には、修了者がサポーターとして協力してくれる体制をとることができました。 ○本年度より松尾地域でも会場を立ち上げ新規に実施することができました。
事業内容	<初心者・中高年のためのスマホ講座> 合計 51名 成東老人福祉センター 1～3月(月2回開催)参加者 14名(延べ60名参加) さんぶの森あららぎ館 1～3月(月2回開催)参加者 14名(延べ66名参加) 蓮沼サロンと一えむ 1～3月(月2回開催)参加者 14名(延べ53名参加) 松尾ふれあい館 1～3月(月2回開催)参加者 9名(延べ38名参加)

<各協力団体との連携・調整会議等への参加と協力>

目的と概要	生活支援コーディネーターとして他機関と連携し事業の企画会議や調整会議を行い、協働事業を実施しました。
考 察	社会福祉協議会関係者だけでなく幅広い分野の方と協働して事業が行えるように、積極的に新たな人脈づくりや新しい会議への参加に努めました。
事業内容	<p><認知症オレンジチームへの参画> ○認知症当事者や家族が認知症の初期段階から地域で安心して暮らし続けられるように、認知症ステップアップ講座修了者などの支援者につなぐための仕組みづくりをすすめています。 期 日 ・毎月1回運営側会議（地域包括職員及び生活支援コーディネーター） ・別日で月1回市民参加の会議を開催 ※認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催、認知症についてのイベントや周知活動（全国アルツハイマー月間イベント、認知症啓発映画会支援）</p> <p><山武市介護支援専門員連絡会> ○生活支援体制整備事業についての説明とケアマネージャーが活用できる関連事業について説明をしました。 期 日 令和4年10月21日（金） ※Zoomによる参加と発表</p> <p><山武圏域SC圏域別情報交換会> 期 日 令和5年2月7日（火） ※千葉県庁担当課と山武圏域の市町関係者が集い情報交換を行いました。</p>

④市民に向けた積極的な情報発信と周知活動

内 容	<p>○社会福祉協議会報「きずな」へ生活支援体制整備事業の記事掲載（4回） ・令和4年春号、夏号、秋号、令和5年新年号</p> <p>○市民が主体的に活動できるように積極的な現場支援と資料配布、広報活動を行いました。 ・高齢者の安心生活情報紙「いちご手帳」の配布と情報更新（社協内） ・こころとからだの健康づくりリーダーブックの配布 ・さんむ筋力アップトレーニングの普及と講師派遣</p> <p>○ゴールドクラブ連合会との連携による高齢者の健康づくり推進</p>
考 察	<p>○継続的に市社協広報紙で周知を進めていきます。</p> <p>○各冊子内容の更新と積極的な周知が必要だと考えます。</p> <p>○市民の認知度が低いので高めていく必要があると考えます。</p>

(2) 住民参加・協働によるボランティア活動の推進

① ボランティア活動の相談・支援

＜ボランティア・市民活動センターの運営＞

目的と概要	ボランティア・市民活動に関する理解と関心を深め、ボランティア活動者・市民活動者との協働・連携及び支援を図ることにより、地域福祉を推進することを目的に山武市ボランティア・市民活動センターを設置・運営しました。
考 察	本年度は新型コロナウイルスの影響により、目的に対する活動はできませんでしたが、ボランティア数に大きな変動はなく、今後期待できると考えます。
登録状況	ボランティアグループ 114グループ 1,393名（前年：102G1,285名） 個人ボランティア 156名（前年：163名） 全社協ボランティア保険加入者 5名（前年：120名） 合計 1,554名（前年：1,568名）

＜マッチング・相談支援＞

目的と概要	ボランティア活動に参加して欲しいと考えている団体等の情報をニーズ登録として受け付けるとともに、ボランティアに参加しても良いと考えている市民を登録し、双方に情報提供などを行い、活動と人をつなぐことを目的に実施しました。
考 察	例年と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響により件数は減少しましたが、学校から福祉体験学習開催、地区社協、市役所、身体障害者福祉会等の実施相談がありました。
事業内容	ボランティアに関する相談件数 32件

＜ボランティア保険の加入促進＞

目的と概要	ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償する保険の加入促進を図りました。
考 察	登録ボランティアは全員加入しています。
事業内容	ボランティア保険加入者 1,554人

＜ボランティア活動資金づくり支援＞

目的と概要	さまざまな社会課題に取り組むNPOやボランティアグループは、営利を目的としない活動を行っているため、常に資金的な支援を必要としています。このような団体に対して、支援したい分野やテーマで団体を公募し、助成金を提供する企業等の情報を提供し、活動活性化の支援を行っています。
考 察	ボランティアセンターで得た情報を随時登録ボランティアに提供します。
事業内容	当センターのボランティア情報誌「きらめき通信」にて随時紹介していきます。

<ボランティア活動の広報・啓発>

目的と概要	ホームページや広報紙「きらめき通信」をはじめとして、様々な機会を利用し、ボランティア活動について広く市民に福祉への興味・関心を抱いていただくための啓発を行いました。
考 察	福祉活動に参加してみようという気持ちを抱いていただけるような話題や情報を提供することを常に心がけていきます。
事業内容	①ボランティア・市民活動センター情報誌「きらめき通信」を毎月発行し、登録ボランティア及び一般市民、関係機関等に配布しました。 【第185号～196号発行済み：各3, 500部発行】 ②ボランティア・市民活動センター専用ホームページ (活動PR、登録支援、活動グループ紹介、災害支援等の情報提供)

<ボランティア活動用資機材等の整備と貸出>

目的と概要	ボランティア活動を支援するため、ボランティア活動に必要な当センターで所有する活動用資機材の貸出しを行いました。												
考 察	新型コロナウイルス感染症の影響により例年に比べ貸出件数は少ないですが、一定のニーズに応えることができました。												
事業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>貸出物品名</th> <th>回数</th> <th>延べ品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワイヤレスマイク</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>白杖</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>高齢者（障害者）疑似体験セット</td> <td>7</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>	貸出物品名	回数	延べ品数	ワイヤレスマイク	3	3	白杖	3	12	高齢者（障害者）疑似体験セット	7	59
貸出物品名	回数	延べ品数											
ワイヤレスマイク	3	3											
白杖	3	12											
高齢者（障害者）疑似体験セット	7	59											

②各種ボランティア・市民活動講座等の開催

< 1. 福祉体験学習サポーター養成講座 >

目的と概要	市民同士の支えあいの実践及び「高齢者や障がい者に対する正しい理解と互いを思い合える豊かな人間性を育む」ために、福祉体験学習サポーターを養成し、福祉教育の推進を図ることを目的として事業を実施しました。	
考 察	参加者に高齢者疑似体験と車椅子の操作方法について学んで頂き、技術の向上と活動の理解を得ることができました。	
実 績	日 時	令和4年4月8日（金）
	会 場	さんぶの森公園・さんぶの森中央会館
	参加人数	13名
	講 師	九十九里病院 作業療法士 芝井孝祐氏
	内 容	高齢者疑似体験と車いす介助の方法を学ぶ

< 2. 災害支援ボランティア講座 >

目的と概要	災害支援ボランティア活動に対する知識と理解を深め、ボランティアとしての意欲の高揚や資質向上を図り、参加者が地域のリーダーとなって活動することで地域防災の増進に寄与することを目的として事業を実施しました。	
考 察	市民の防災意識を高めるため、防災かるたを活用した講義とワークショップを通じて防災知識の普及活動を行いました。	
実 績	日 時	令和5年2月23日（木）
	会 場	成東老人福祉センター
	参加人数	36名
	内 容	さんむ防災かるたを使って防災、減災について学ぶ

< 3. 夏休みボランティア体験教室 >

<p>目的と概要</p>	<p>ボランティア体験学習を通じ、人生の重要な発達段階にある子どもの自立と連携の心を育て、地域社会の一員としての意識を高め、もって「参加型福祉社会の実現」に向けた担い手の育成に寄与することを目的のために事業を実施しました。</p>																										
<p>考 察</p>	<p>夏休み期間を利用し体験学習を行うことで、ボランティア活動に対する関心を育むことができました。</p>																										
<p>実 績</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">1. 環境ボランティア</td> </tr> <tr> <td>日 時</td> <td>令和4年7月29日(金)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>成東早船里山</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>コロナ感染者拡大のため中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2. 手話体験ボランティア</td> </tr> <tr> <td>日 時</td> <td>令和4年8月4日(木)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>成東中央公民館</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td>コロナ感染者拡大のため中止</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3. 点字体験ボランティア</td> </tr> <tr> <td>日 時</td> <td>令和4年8月18日(木)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>さんぶの森交流センター あららぎ館</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>点字サークルなでしこの協力で点字を学ぶ。</td> </tr> </table>	1. 環境ボランティア		日 時	令和4年7月29日(金)	会 場	成東早船里山	備 考	コロナ感染者拡大のため中止	2. 手話体験ボランティア		日 時	令和4年8月4日(木)	会 場	成東中央公民館	備 考	コロナ感染者拡大のため中止	3. 点字体験ボランティア		日 時	令和4年8月18日(木)	会 場	さんぶの森交流センター あららぎ館	参加人数	4名	内 容	点字サークルなでしこの協力で点字を学ぶ。
1. 環境ボランティア																											
日 時	令和4年7月29日(金)																										
会 場	成東早船里山																										
備 考	コロナ感染者拡大のため中止																										
2. 手話体験ボランティア																											
日 時	令和4年8月4日(木)																										
会 場	成東中央公民館																										
備 考	コロナ感染者拡大のため中止																										
3. 点字体験ボランティア																											
日 時	令和4年8月18日(木)																										
会 場	さんぶの森交流センター あららぎ館																										
参加人数	4名																										
内 容	点字サークルなでしこの協力で点字を学ぶ。																										

③おもちゃ図書館事業の開館

<p>目的と概要</p>	<p>遊びを通して、ハンディキャップのある子どもを中心に、子どもたちの心身の発達を促すこと、並びに、保護者同士や親子と地域との情報交換・交流を図り、地域ぐるみの子育てを推進することを目的に、ボランティアの運営協力のもと、本年度は新型コロナウイルスの影響により4カ所中、1カ所のみ開催しました。また、開催できなかった3カ所ではおもちゃの貸出のみ行いました。</p>																										
<p>考 察</p>	<p>コロナ禍におけるおもちゃ図書館の運営について担当者が県連絡会の役員となり、県内各事業所の情報交換を行っています。</p>																										
<p>実績</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">“らっこ” 山武市簡易マザーズホーム内「くまの部屋」</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;">開催日時</td> <td>毎月第2金曜日 10:00～11:30</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>9回 (4/22.5/13.7/8.9/9.10/14.11/11.1/13.2/10.3/10)</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>こども45名 付き添い38名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">“ひらひら” おおひらこども園子育て支援センター</td> </tr> <tr> <td>貸出回数</td> <td>13回 (4/27.4/28.5/10.5/11.5/13.5/20.5/26.10/5.10/13.10/19.10/27.11/9.11/22) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>合計 こども55名 付き添い47名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">“みつばち” なるとうこども園子育て支援センター</td> </tr> <tr> <td>貸出回数</td> <td>13回 (8/3.8/10.8/24.9/1.9/7.9/14.9/28.2/10.2/17.2/24.3/3.3/6.3/9) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>合計 こども77名 付き添い72名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">“うさぎ” しらはたこども園子育て支援センター</td> </tr> <tr> <td>貸出回数</td> <td>11回 (6/9.6/12.7/6.7/14.7/15.12/7.12/21.12/22.1/13.1/18.1/25) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>合計 こども40名 付き添い30名</td> </tr> </table>	“らっこ” 山武市簡易マザーズホーム内「くまの部屋」		開催日時	毎月第2金曜日 10:00～11:30	開催回数	9回 (4/22.5/13.7/8.9/9.10/14.11/11.1/13.2/10.3/10)	参加者	こども45名 付き添い38名	“ひらひら” おおひらこども園子育て支援センター		貸出回数	13回 (4/27.4/28.5/10.5/11.5/13.5/20.5/26.10/5.10/13.10/19.10/27.11/9.11/22) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した	参加者	合計 こども55名 付き添い47名	“みつばち” なるとうこども園子育て支援センター		貸出回数	13回 (8/3.8/10.8/24.9/1.9/7.9/14.9/28.2/10.2/17.2/24.3/3.3/6.3/9) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した	参加者	合計 こども77名 付き添い72名	“うさぎ” しらはたこども園子育て支援センター		貸出回数	11回 (6/9.6/12.7/6.7/14.7/15.12/7.12/21.12/22.1/13.1/18.1/25) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した	参加者	合計 こども40名 付き添い30名
“らっこ” 山武市簡易マザーズホーム内「くまの部屋」																											
開催日時	毎月第2金曜日 10:00～11:30																										
開催回数	9回 (4/22.5/13.7/8.9/9.10/14.11/11.1/13.2/10.3/10)																										
参加者	こども45名 付き添い38名																										
“ひらひら” おおひらこども園子育て支援センター																											
貸出回数	13回 (4/27.4/28.5/10.5/11.5/13.5/20.5/26.10/5.10/13.10/19.10/27.11/9.11/22) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した																										
参加者	合計 こども55名 付き添い47名																										
“みつばち” なるとうこども園子育て支援センター																											
貸出回数	13回 (8/3.8/10.8/24.9/1.9/7.9/14.9/28.2/10.2/17.2/24.3/3.3/6.3/9) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した																										
参加者	合計 こども77名 付き添い72名																										
“うさぎ” しらはたこども園子育て支援センター																											
貸出回数	11回 (6/9.6/12.7/6.7/14.7/15.12/7.12/21.12/22.1/13.1/18.1/25) ※子育て支援センターへおもちゃを貸出した																										
参加者	合計 こども40名 付き添い30名																										

④福祉教育の推進

<福祉教育活動費の助成>

目的と概要	学校の児童・生徒と地域が密接に関わることで、自ら進んで地域活動に参加する市民として育ててくれることを目標に、市内の小・中学校に対し福祉教育推進に係る補助金を交付しました。		
考 察	目的に向け有効に活用されています。		
実 績	【助成実績】		
	学校名	成東小学校 緑海小学校 日向小学校 松尾小学校 山武北小学校 大平小学校 成東中学校 山武望洋中学校	各 校 30,000 円
	合 計	8校 (前年：9校 270,000 円)	240,000 円

<福祉教育の推進・学校等への協力> 【5校 5回実施 (昨年度：4校 4回実施)】

1.緑海小学校	
日 時	令和4年10月11日(火) 10:30~12:10
場 所	緑海小学校(3年生教室・4年生教室・少人数教室)
対象者	3学年児童 1クラス16名・4学年児童 1クラス 22名
協力者	視覚障がい者2名、点字ボランティア4名
内 容	視覚障がい者のお話、ブラインドウォーク、点字学習

2.成東中学校	
日 時	令和4年12月1日(木) 13:15~15:10
場 所	成東中学校(体育館・体育館入口)
対象者	1学年児童 2クラス 62名
協力者	九十九里病院1名、福祉体験学習サポーター8名
内 容	車いす体験学習、高齢者疑似体験学習、車いすボッチャ体験

3.南郷小学校	
日 時	令和4年12月6日(火) 9:25~11:15
場 所	南郷小学校(図工室・家庭科室)
対象者	3学年児童 1クラス 23名
協力者	視覚障がい者2名、点字ボランティア4名
内 容	視覚障がい者のお話、ブラインドウォーク、点字学習

4.鳴浜小学校	
日 時	令和5年1月20日（金）9：20～11：05
場 所	鳴浜小学校（多目的室）
対象者	3学年児童 1クラス 24名、4学年児童 1クラス 14名
協力者	聴覚障がい者4名、手話通訳者2名
内 容	聴覚障がい者のお話、手話学習

5.大富小学校	
日 時	令和5年1月27日（金）13：45～15：25
場 所	大富小学校（体育館）
対象者	5学年児童 1クラス 17名
協力者	福祉体験学習サポーター 5名
内 容	車いす体験学習、高齢者疑似体験学習

2. 日常生活を支援するサービスの充実

(1) 権利擁護と自立支援の取り組み

①成年後見推進事業の実施

<法人後見事業の実施>

【法人後見の受任】

目的と概要	家庭裁判所の審判に基づき、当社協が法人として成年後見人となり支援を行いました。
考 察	今年度、市長申立ての案件はありましたが、在宅生活者であったこと、債務・相続問題等複雑な事案を抱えた案件が多かったことより、専門職への推薦が多かったため法人後見での受任はありませんでした。しかし今後も法人後見の需要は増えてくると考えられます。

【実績】

	類 型		
	補助	補佐	後見
受任数 (前年度まで)	0件	0件	7件 (終了2件)
今年度 受任数	0件	0件	0件 (終了2件)
年度未合計	0件	0件	5件

【相談件数】

	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
件 数	88	3	9	8	108

<成年後見に関する研修及び会議等参加>

期 日	名 称	場 所	出席者
4月18日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員
4月25日(月)	山武市成年後見支援会議	山武市役所	センター長 専門員2名
5月23日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
6月27日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
7月25日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
8月22日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名

9月16日(金)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
9月30日(金)	山武市成年後見支援会議	山武市役所	センター長 専門員2名
10月11日(火)	千葉家庭裁判所八日市場支部 意見交換会)	八日市場家庭裁判所	専門員
11月28日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
12月26日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
1月23日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
1月31日(火)	山武市成年後見支援会議	オンライン	センター長 専門員2名
2月27日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名
3月27日(月)	相談業務連絡会 (成年後見支援会議事前打合せ)	山武市役所	専門員2名

<市民後見人の活動の推進に関する啓発活動(パンフレット配布及び事業説明等)>

期 日	名 称	場 所
6月13日(月)	松尾地域民生委員児童委員協議会	松尾 IT 保健福祉センター

②日常生活自立支援事業の実施（愛称：すまいる）

目的と概要	日常生活を送る上で、十分な判断ができない方や、身体の不自由な方が地域で安心して生活できるように支援することを目的とした日常生活自立支援事業（千葉県後見支援センター事業業務）を千葉県社会福祉協議会から受託し、福祉サービス利用援助・財産管理サービス・財産保全サービスを実施しました。
考 察	新規相談が増加すると共に、利用者の金銭管理問題の複雑化・契約後の支援困難な事例も多々あるため、常々関係機関との連携を図っております。今年度は相談の増加もあり、新規契約者数・解約数が多い傾向にありました。生活支援員については3名の受講があり、登録数も増加しております。引き続き募集の周知を図りたいと考えます。

【利用者・生活支援員】

利用者	新規契約数	23ケース	
	解 約 数	15ケース	
	その他移管数	0ケース	
	年度末現在契約数	73ケース	
生活支援員	現 任 数	18名	
	登 録 数	2名	

【実績】

	高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
契約数 (前年度まで)	125	20	37	8	190
今年度 契約数	21	1	0	1	23
合計	146	21	37	9	213

【内容別契約者数】

	新規契約者 総数 (生保者数)	契約解除者数 (生保者数)	移管者数 (生保者数)	年度末現在 契約数 (生保者数)	サービス種類 (※1)					
					福祉	財産管理				財産 保全
						あり	なし	社協	個人	
R4.3 まで 契 約 数	190 (64)	77 (27)	50 (18)							
今 年 度 契 約 数	23 (9)	15 (7)	0 (0)	73 (26)	73	67	6	61	6	5
合 計	213 (73)	92 (34)	50 (18)	73 (26)						

サービス種類説明 (※1)

- 福祉：福祉サービス利用援助… 73名
- 財産管理：財産管理サービス… 67名
 - あり：代理権あり
 - なし：代理権なし
 - 社協：通帳社協管理
 - 個人：通帳個人管理
- 財産保全：財産保全サービス… 5名

【相談内容別人数等内訳】

		高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	計
1	福祉サービスの手続き等					
2	日常的な金銭の管理等	59	3	8	8	78
3	書類等の預かり・財産保全					
4	保健サービスの手続き等					
5	医療に関する事項					
6	福祉サービスに関する苦情等					
7	今後の生活設計等					
8	本事業等に関する単なる問合せ					
9	成年後見制度に関すること	28		1		29
10	虐待等に関すること等					
11	その他	1				1
合 計		88	3	9	8	108

【相談・訪問調査等の回数】

		高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	計
相談・訪問調査等延べ回数		288	15	15	13	331
訪問調査 のみ	訪問実人数	80				
	契約前訪問延べ回数	98				

【研修等の開催・参加】

○千葉県後見支援センター主催研修

期 日	名 称	場 所	出席者
7月27日(水)	日常生活自立支援事業 専門員研修	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員1名
8月24日(水)	生活支援員養成研修会	千葉県社会福祉センター	生活支援員候補者 3名
9月22日(木)	千葉県後見支援センタ ー関係機関連絡会議	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員2名
11月11日(金)	日常生活自立支援事業 生活支援員・担当者研 修会	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員3名 生活支援員(現 任・登録)8名
2月 2日(木)	成年後見制度利用促進 体制整備のための千葉 県域会議	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員2名
2月13日(月)	法人後見専門員研修会	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員2名
2月21日(火)	成年後見制度利用促進 体制整備セミナー	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員2名
2月27日(月)	第2回日常生活自立支 援事業連絡会議	成東老人福祉センター (リモート開催)	専門員2名

○さんむ成年後見支援センター主催研修

期 日	名 称	場 所	参加者
3月25日(土)・ 26日(日)	山武市市民後見人養成 講座フォローアップ研 修	成東老人福祉センター	12名
3月30日(木)	生活支援員連絡会	成東老人福祉センター	14名

【契約締結審査会（審査会場：千葉県社会福祉センター 毎月第3火曜日 18:30～）】

審査月	実施日	回数	審査内容（上程／単位：ケース）					支援計画 ※除審査会	出席者 （電話による）
			新規	新規 事務局 審査	評価	解約	支援計画		
4月	19日	266	1		2	1		1	専門員2名
5月	24日	267			10				
6月	21日	268		3	5				
7月	19日	269		2	4				
8月	23日	270			2				
9月	20日	271	1		5	2			専門員2名
10月	18日	272	2	1	5	1			専門員2名
11月	22日	273			8	2			
12月	20日	274	1		6	4			専門員2名
1月	24日	275	1	4	2	2			専門員2名
2月	21日	276	2	1	3	1	1		専門員2名
3月	22日	277	1	2	5		1		専門員2名
年間計			9	13	57	13	2	1	

※ 審査会不承認、審査通過後辞退及び死亡により当年度契約数等とは一致しません。

【地域会議及び担当者会議（全15回）】

期 日	場 所	人数	出席者
4月26日（火）	青松苑	9	本人・叔母2名・叔父・GH管理者兼就労支援者・市役所障がい係・生活支援員・専門員2名
5月10日（火）	山武市役所	8	高齢者福祉課長・高齢者福祉係長・成東包括2名・山武包括・ケアマネ・高齢者福祉係・専門員
5月11日（水）	あららぎ館	10	山武包括3名・ケアマネ2名・薬局・福祉用具担当者・ヘルパー・市役所保護係・専門員
7月4日（月）	山武市役所	11	本人・成年後見人2名・ケアマネ・ヘルパー・就労事業所支援者・さんネット・市役所障がい係・市役所保健師・社会福祉協議会事務局長・専門員
7月6日（水）	浅井病院	12	本人・就労先男性・従妹2名・ケアマネ2名（本人、就労先男性）・GH管理者兼就労支援者・東金市役所生活保護係・病院相談員・GH世話人・専門員2名
8月8日（月）	松尾蓮沼地域包括センター	6	松尾蓮沼包括2名・ケアマネ・ヘルパー・生活支援コーディネーター・専門員
10月6日（木）	さんむ医療センター	5	本人・ケアマネ・病院相談員・専門員2名
10月20日（木）	山武地域包括支援センター	7	ケアマネ・民生委員2名・次期民生委員候補・山武包括2名・専門員
12月1日（木）	山武市成東保健センター	7	市役所保健師・ゆりの木・病院相談員・市役所障がい係2名・山武包括・専門員
12月19日（月）	本人宅	6	本人・娘・本人成年後見人・娘成年後見人・専門員2名
12月21日（水）	しょうじゅの里	6	本人・ケアマネ・親族・友人・専門員2名
2月13日（月）	山武市役所	10	高齢者福祉課長・高齢者福祉係長2名・成東包括4名・山武包括1名・ケアマネ・専門員
2月15日（水）	山武市役所	5	成東包括2名・病院相談員・ケアマネ・専門員
2月22日（水）	山武市役所	11	成東包括2名・松尾蓮沼包括2名・障がいケアマネ・介護ケアマネ・訪問介護事業所2名・市役所保護係・専門員2名
3月8日（水）	山武市役所	7	市役所保健師・成東包括2名・市役所保護係・警察・生活就労相談室・専門員

【事業説明および啓発活動等】

期 日	名 称	内 容	出席者
6月13日（月）	松尾地域民生委員児童委員協議会	センターの役割・成年後見・日常生活自立支援事業について	民生委員

③生活困窮者自立支援制度事業の充実・強化

<自立相談支援事業の実施>

【相談実績】

目的と概要	何らかの理由により生活が困窮し、生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者に対し、本人の状態に応じた包括的な相談支援を実施し、その者の社会的経済的自立に資することを目的として実施しました。							
考 察	新型コロナウイルスの影響により、令和4年度も多くの新規相談が寄せられました。安定収入を得られる求人が少なく、離職者の家計改善が困難となり、解決にはしばらく時間を要するため、多くのケースを抱えることになると思います。							
実 績	月	新規 相談	延べ相談 対応件数 (前年度からの継続 ケース含む)	プラン		モニタ リング	評価	住居確保 給付金 (新規)
	4	23	212	1		3		
	5	14	210	2		3	3	1
	6	10	240			3	1	
	7	13	219	1		3	2	1
	8	14	236	1	1	3	1	
	9	21	202					
	10	20	206					
	11	19	202	3	2	1	4	
	12	19	214	1		5	2	
	1	21	209	3		4		1
	2	20	237	2	2	7	3	1
	3	20	274		1	11	2	
	合計	214	2,661	20		43	18	4

		【新規相談種別】			
		相談内容	主相談	その他	合 計
		① 病気や健康、障害のこと	15	51	66
		② 住まいについて	8	23	31
		③ 収入・生活費のこと	133	43	176
		④ 家賃やローンの支払いのこと	9	29	38
		⑤ 税金や公共料金等の支払いのこと	5	41	46
		⑥ 債務について	6	13	19
		⑦ 仕事探し、就職について	17	37	54
		⑧ 仕事上の不安やトラブル	1	3	4
		⑨ 地域との関係について	1	0	1
		⑩ 家族との関係について	2	8	10
		⑪ 子育てのこと	0	2	2
		⑫ 介護のこと	6	23	29
		⑬ ひきこもり・不登校	6	5	11
		⑭ DV・虐待	2	3	5
		⑮ 食べるものがない	3	11	14
		⑯ その他	0	4	4
		合 計 (相談者の抱える悩みの数)			510
		<<相談内容の傾向>> 主相談 第1位：収入・生活費のこと 第2位：仕事探し、就職について 第3位：病気や健康、障害のこと			
実 績	本年度の支援によって見られた変化 (前年度までのケース含む)				
	生活面	生活保護の適用	57	生活習慣の改善	3
		住まいの確保、安定	13	孤立解消	32
		医療機関の診断開始	21	精神安定	101
		健康状態の改善	2	債務の整理	5
		障害手帳の取得	1	家計の改善	30
		自立意欲向上・改善	32	就労収入増加	8
		対人・家族関係の改善	28		
	社会面	職場定着	15	就職活動開始	54
		一般就労開始 (目的が継続的な就労。障害者雇用含む)	27	職業訓練の開始、就学	3
障害者サービス活用 (就労継続B型、就労移行支援等)		0	社会参加機会の増加	24	
他	その他	20			

【終了理由内訳】			
	前年度からの 継続ケース	4年度新規 受付ケース	
解決	34	39	
情報提供のみ	0	0	
他機関にて対応	2	1	
音信不通	1	0	
その他 (転出、死亡、支援辞退等)	53	13	
終了件数合計	90	53	
	143		
前年度からの 継続ケース数(A)	前年度からの 継続ケースの内 4年度終了数(B)	4年度新規受付分 繰越ケース数(C)	次年度への繰越 ケース数 (A)-(B)+(C)
544	90	161	615

【支援調整会議】

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、支援及びその計画が適切なものであるか確認を行うとともに、関係機関及び関係者等の役割について調整を行うことを目的に開催しました。
考 察	各関係部署が出席し、意見交換や情報共有が行われています。原則毎月1回開催し、多職種連携構築の場としても有効であると考えます。
場 所	山武市役所本庁内会議室
参 加 者	社協事務局長、社会福祉課長、社会福祉係、保護係、障がい福祉係、包括支援センター、子育て支援課、健康支援課、家庭児童相談係、リンク（家計改善支援員）、自立相談支援員2名
実 績	全10回

【会議・研修会等への参加】

<p>会 議 等</p>	<p><令和4年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会> 内 容 ・各事業所報告会 山武圏域における各事業所の報告と支援について ・意見交換</p> <p><令和4年度山武圏域生活困窮者自立相談支援事業連絡会事務局会議> 【全3回】※オンラインにて開催 内 容 ・社会資源や制度の情報提供を重点事項として実施 ・生活困窮者自立支援制度担当者の人材育成等</p>
<p>考 察</p>	<p>生活困窮者向けの求人や社会資源の把握等、生活困窮者自立相談支援機関同士の情報共有の場として有効であると考えます。</p>

<p>研修会等</p>	<p><千葉県生活困窮者自立支援実務者ミーティング> ※オンライン開催（ZOOMミーティング） 期 日 令和4年6月25日（土） 内 容 講演「生活困窮者自立支援法の見直しに向けた論点整理のポイントと今後」</p> <p><ヤングケアラー関係機関職員研修> 期 日 令和4年7月22日（金）、7月29日（金） 会 場 千葉県教育会館 大ホール 内 容 ヤングケアラーの現状と課題について</p> <p><福祉サービス苦情解決研修会【応用編】第3回高齢分野> ※オンライン開催（ZOOMミーティング） 期 日 令和4年12月2日（金） 内 容 講義「苦情対応の流れを知る」～苦情を成長のきっかけに～</p> <p><自立相談支援事業従事者養成研修・就労準備支援事業従事者養成研修> ※動画視聴、レポート提出</p>
-------------	--

<生活困窮者自立支援制度の周知>

<p>目的と概要</p>	<p>山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、市民へ向けた相談窓口の周知を行いました。</p>
<p>考 察</p>	<p>令和4年度に実施出来なかったポスターの掲示や案内カードの作成について再度検討し、事業PRに努めたいと考えます。</p>
<p>実 績</p>	<p>市役所、社協へのチラシの設置。</p>

<ひきこもり当事者・家族に対するサポート体制の拡充>

目的と概要	社会参加することに課題を抱え、生活のしづらさを感じている人への支援を通じ、ひきこもり者が地域に出て社会参加できる機会を作ることを目的とした「誰もが住みやすい地域づくり～ひきこもり当事者及び家族支援活動～」への事業協力を行いました。
考 察	NPO法人リンクと協力開催することで、専門家を交えた質の高い支援活動を実施することができました。今後も地域の社会資源として広く認識されるよう、事業定着を目指します。また、ひきこもりサポーターの養成と、常設型の居場所づくり（ひきこもりカフェ等）についても検討します。
実 績	<p><市民公開講座> 期 日 令和4年9月8日（木） 場 所 成東老人福祉センター 講 師 （ひきこもり家族会）アドバイザー 阿部達明 氏 内 容 <セミナー>コロナ禍の「8050問題」を考える～ひきこもり支援を参考に～</p> <p><ひきこもり家族の集い in さんむ> 【全2回】 期 日 令和4年7月21日（木）、11月10日（木） 場 所 成東老人福祉センター 講 師 城西国際大学 准教授 森山拓也 氏 対象者 ひきこもりの家族を抱える方、支援者など 内 容 ワークショップ、個別相談会</p> <p><心のいずみ> 【全2回】 期 日 令和4年9月8日（木）、令和5年2月20日（月） 場 所 成東老人福祉センター 講 師 （ひきこもり家族会）アドバイザー 阿部達明 氏 対象者 ひきこもりの家族を抱える方、支援者など 内 容 ワークショップ、講師による個別相談会</p>

<就労体験（独自実施）>

目的と概要	一定の自立見込みがある相談者に対し、就労の前段階として、就労意欲の向上や職の適性を判断するため実施しました。
考 察	ひきこもり当事者や職のブランクのある方等の成功体験づくりを目的として実施しました。新たな体験メニューの開発と、協力者確保を進めたいと考えます。
実 績	期 日 令和4年11月17日（木） 場 所 成東老人福祉センター 内 容 カレンダー、ポスターの袋詰め作業（1名参加） 協力者 中央労働金庫成東支店

<支援に向けた社会資源の把握と開発等>

目的と概要	山武市生活困窮者自立相談支援事業を実施するにあたり、雇用協力者や食料・物品提供者、その他事業への協力依頼を通じ、生活困窮者への理解を広めました。
考 察	生活困窮者向けの職場、食料、物品、協力者は、自立支援において大変重要であり、今後も積極的な確保・開拓に取り組んでいきます。
実 績	【職場開拓先】 ・三陽警備株式会社

④各種資金の貸付等
 <福祉資金の貸付>

目的と概要	低所得世帯に対し、生活意欲の高揚と自立更生の推進を目的に、生活つなぎ資金その他必要な緊急援護費として貸付を実施しました。																																																					
考 察	生活保護決定となるまでの期間のつなぎ資金的支援、生活保護受給中の方の緊急的な支援を実施しました。 相談の中には、貸付支援で対応できないケースも多くみられ、自立支援機関と連携し必要な制度へつなぎ、食料支援等で対応するなど、引き続き困窮世帯への迅速な支援が必要であると思われま。																																																					
貸付実績	<p>【貸付状況】</p> <table border="1" data-bbox="406 616 1394 943"> <thead> <tr> <th colspan="2">貸付件数</th> <th>貸付額</th> <th>償還済額</th> <th>未償還件数</th> <th>残高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今年度新規</td> <td>9件</td> <td>213,173円</td> <td>167,073円</td> <td>4件</td> <td>46,100円</td> </tr> <tr> <td>前年度以前</td> <td>57件</td> <td>2,479,300円</td> <td>52,000円</td> <td>54件</td> <td>2,427,300円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66件</td> <td>2,692,473円</td> <td>219,073円</td> <td>58件</td> <td>2,473,400円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※前年度以前の貸付件数及び貸付額は4月1日付未償還分を記載</p> <p>【長期滞納分の欠損処理】</p> <table border="1" data-bbox="406 1097 1394 1458"> <thead> <tr> <th colspan="3">令和5年3月31日現在</th> <th colspan="2">欠損処理</th> <th rowspan="2">未償還件数</th> <th rowspan="2">残高</th> </tr> <tr> <th>未償還件数</th> <th>残高</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今年度新規</td> <td>4件 46,100円</td> <td>0</td> <td>0円</td> <td>4件</td> <td>46,100円</td> </tr> <tr> <td>前年度以前</td> <td>54件 2,427,300円</td> <td>42件</td> <td>2,105,800円</td> <td>12件</td> <td>321,500円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>58件 2,473,400円</td> <td>42件</td> <td>2,105,800円</td> <td>16件</td> <td>367,600円</td> </tr> </tbody> </table>	貸付件数		貸付額	償還済額	未償還件数	残高	今年度新規	9件	213,173円	167,073円	4件	46,100円	前年度以前	57件	2,479,300円	52,000円	54件	2,427,300円	合計	66件	2,692,473円	219,073円	58件	2,473,400円	令和5年3月31日現在			欠損処理		未償還件数	残高	未償還件数	残高	件数	金額	今年度新規	4件 46,100円	0	0円	4件	46,100円	前年度以前	54件 2,427,300円	42件	2,105,800円	12件	321,500円	合計	58件 2,473,400円	42件	2,105,800円	16件	367,600円
貸付件数		貸付額	償還済額	未償還件数	残高																																																	
今年度新規	9件	213,173円	167,073円	4件	46,100円																																																	
前年度以前	57件	2,479,300円	52,000円	54件	2,427,300円																																																	
合計	66件	2,692,473円	219,073円	58件	2,473,400円																																																	
令和5年3月31日現在			欠損処理		未償還件数	残高																																																
未償還件数	残高	件数	金額																																																			
今年度新規	4件 46,100円	0	0円	4件	46,100円																																																	
前年度以前	54件 2,427,300円	42件	2,105,800円	12件	321,500円																																																	
合計	58件 2,473,400円	42件	2,105,800円	16件	367,600円																																																	
食料支援	貸付相談時に生活状況に応じて食料支援を実施 31回																																																					

<生活福祉資金の貸付>

目的と概要	低所得世帯や障がい者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより経済的自立・生活意欲の助長促進や在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付事業を千葉県社会福祉協議会からの受託し実施しました。																														
考 察	<p>緊急小口等特例貸付の貸付を半年間実施後、支払免除の案内及び支払猶予に関する受付を実施しました。相談の中には制度の理解が困難で申請手続きができずにいるケースがみられました。面談の際、必要な手続きができているかを注視し対応していくことが必要であると思いました。</p> <p>教育支援資金では、低所得世帯、母子家庭世帯の進学に必要な資金の貸付を対応しました。引き続き、希望する進路に進み、世帯が自立できるよう地区担当民生委員と連携し支援していくことが重要であると考えます。</p>																														
貸付実績	<p>【県社協生活福祉資金 特例貸付状況】</p> <table border="1" data-bbox="422 712 1184 1070"> <thead> <tr> <th>貸付種類</th> <th>貸付件数</th> <th>貸付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>5 件</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>2 件</td> <td>1,200,000 円</td> </tr> <tr> <td>再貸付</td> <td>0 件</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7 件</td> <td>2,200,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【県社協生活福祉資金 通常貸付状況】</p> <table border="1" data-bbox="422 1149 1184 1507"> <thead> <tr> <th>貸付種類</th> <th>貸付件数</th> <th>貸付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>4 件</td> <td>2,597,600 円</td> </tr> <tr> <td>就学支度費</td> <td>5 件</td> <td>1,923,400 円</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>12 件</td> <td>1,006,000 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21 件</td> <td>5,527,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	貸付種類	貸付件数	貸付額	緊急小口資金	5 件	1,000,000 円	総合支援資金	2 件	1,200,000 円	再貸付	0 件	0 円	合 計	7 件	2,200,000 円	貸付種類	貸付件数	貸付額	教育支援資金	4 件	2,597,600 円	就学支度費	5 件	1,923,400 円	緊急小口資金	12 件	1,006,000 円	合 計	21 件	5,527,000 円
貸付種類	貸付件数	貸付額																													
緊急小口資金	5 件	1,000,000 円																													
総合支援資金	2 件	1,200,000 円																													
再貸付	0 件	0 円																													
合 計	7 件	2,200,000 円																													
貸付種類	貸付件数	貸付額																													
教育支援資金	4 件	2,597,600 円																													
就学支度費	5 件	1,923,400 円																													
緊急小口資金	12 件	1,006,000 円																													
合 計	21 件	5,527,000 円																													

<貸付調査委員会の開催>

期 日	令和5年3月27日（月）
会 場	成東老人福祉センター 第1会議室
出席者	貸付調査委員4名出席 事務局2名
内 容	<p>(1) 委員長，議事録署名人及び書記の選出について</p> <p>(2) 令和4年度県生活福祉資金等貸付事業の状況について</p> <p>(3) 令和4年度本会福祉資金貸付事業の状況について</p> <p>(4) その他</p>

(2) 総合的な相談機能の取り組み

①心配ごと相談所の設置

目的と概要	住民の日常生活上のあらゆる悩みを持つ者に対して積極的に相談に応じ、問題解決に向け助言や援助指導を行うことを目的に相談所を開設しました。					
考 察	新型コロナウイルス感染防止に努め、予定どおり実施しました。市民の相談は年々増加傾向であり、問題も複雑化し、1件当たりの相談時間も長くなっていることから、一般相談についても年度途中から予約受付を可能としました。					
区分	日数等	成東地域	山武地域	蓮沼地域	松尾地域	年間実績
一般相談	開設日数（日）	1 2	2 1	1 2	1 1	5 6
	相談件数（件）	1 0	2 6	6	8	5 0
法律相談	開設日数（日）	1 2	1 2	1 1	1 1	4 6
	相談件数（件）	6 3	7 5	5 4	6 1	2 5 3

《 1. 相談内容の傾向》

一般相談 第1位：その他 第2位：家族
 法律相談 第1位：財産 第2位：人権、家族

<心配ごと相談所運営委員会>

第1回	期 日	令和4年8月1日（月）
	会 場	成東老人福祉センター 第1会議室
	出席者	心配ごと相談所運営委員10名・事務局2名
	内 容	(1) 委員長・副委員長の選出について (2) 令和3年度「山武市心配ごと相談所」相談実績について (3) 民生委員・児童委員の一斉改選に係る相談員の任期等について (4) 令和4年度相談員研修会の開催について (5) 次回の運営委員会議の開催について
第2回	期 日	令4年12月19日（月）
	会 場	成東老人福祉センター 第1会議室
	出席者	心配ごと相談所運営委員9名・事務局2名
	内 容	(1) 令和4年度「山武市心配ごと相談所」相談実績について (2) 令和4年度相談員研修会の開催について (3) 令和5年度相談員研修会の開催について (4) その他

<心配ごと相談所相談員研修会>

期 日	令和5年2月27日（月）
会 場	さんぶの森交流センター あららぎ館 多目的室
参加者	心配ごと相談所相談員26名・事務局3名
内 容	相談対応の基礎知識 講義「いのちの電話の傾聴について」 講師：社会福祉法人 千葉いのちの電話 相談員 市原 とし子氏 相談員 中西 あつ子氏

②苦情解決相談の受付

<福祉サービスに対する苦情解決の実施>

目的と概要	社会福祉協議会が行う福祉サービスに関わる苦情解決の仕組みを整備することで利用者の権利を擁護し福祉サービスの適切な利用を支援するとともに本会の福祉サービス等の適正と信頼を確保するため、事業ごとに苦情受付担当者を配置し、苦情解決窓口を設置しました。
苦情件数	2件（第三者委員会への要望はなし）
研修会等	<福祉サービス苦情解決研修会>※オンライン研修 【基礎編】 期 日 令和4年11月21日（月） 場 所 成東老人福祉センター（ZOOM） 出席者 第三者委員2名・職員7名 【応用編（高齢分野）】 期 日 令和4年12月2日（金） 出席者 職員2名 【応用編（児童分野）】 期 日 令和5年1月17日（火） 出席者 職員1名 【応用編（障害分野）】 期 日 令和5年2月6日（月） 出席者 職員3名

<第三者委員の設置>

目的と概要	苦情解決に社会性や客観性を確保するとともに、福祉サービス利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置しました。
委員数	3名
仲裁件数	0件（対象案件なし）

③虐待通報の受付等

目的と概要	社会福祉協議会が提供する福祉サービスでの虐待を防止するための体制を整備し、利用者の人権を擁護するとともに、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援することを目的に虐待防止委員会を設置しました。
考 察	虐待防止対応責任者を配置し、利用者の人権の擁護と福祉サービスの適切な利用支援等に努めることができましたと考えます。
通報の受付	0件
実績	<p><虐待防止委員会></p> <p>【第1回】 期 日 令和4年9月20日（火） 場 所 成東老人福祉センター 第1会議室 参加者 7名 内 容 ○説明 (1) 虐待防止に関する規程について (2) 身体拘束等の適正化のための指針について ○協議事項 (1) 虐待防止のための計画づくりについて (2) 虐待防止のチェックとモニタリングについて (3) 虐待（不適切な対応事例）発生後の検証と再発防止策の検討について</p> <p>【第2回】 ※第1回身体拘束適正化委員会を兼ねる 期 日 令和5年3月24日（金） 場 所 成東老人福祉センター 第1会議室 参加者 7名 内 容 (1) 虐待防止のチェックリストの見直しについて (2) 身体拘束等について (3) 虐待防止マニュアルの作成について</p> <p><虐待防止の周知> 周知方法 (1) 対象とする虐待内容の掲示（職員室内） (2) 職員へ対象とする虐待内容についての通知 配布先 (1) 福祉作業所（成東・山武・松尾） (2) 簡易マザーズホーム (3) 訪問型サービスA事業所</p> <p><日常的な支援現場を把握するためのチェックリストの実施> 内 容 (1) 労働環境・条件メンタルヘルスチェックリスト (2) 職業性ストレス簡易調査票 (3) 施設・地域における障害者虐待防止チェックリスト 実施回数 月1回 対象者 障害福祉サービス事業所職員</p>

	<p><研 修></p> <p>【障害者虐待防止・権利擁護専門研修（オンライン研修）】</p> <p>[コース1]</p> <p>内 容 職員のメンタルヘルス</p> <p>期 日 令和4年11月14日（月）・12月21日（水）</p> <p>参加者 5名</p> <p>[コース2]</p> <p>内 容 コース2「虐待につながる身体拘束の防止」</p> <p>期 日 令和4年11月10日（木）・11月22日（火）</p> <p>参加者 5名</p> <p>【内部研修】</p> <p>内 容 新規採用時に身体拘束等に関する研修</p> <p>期 日 令和4年11月28日（月）</p> <p>会 場 松尾福祉作業所</p> <p>対象者 1名</p>
--	--

3. 自立生活を支援するサービスの提供

(1) 介護サービス関連の取り組み

①介護保険法に基づく第1号訪問事業（訪問型サービスA）の実施

目的と概要	介護予防日常生活支援総合事業の「訪問型サービスA」事業者として、主に要支援高齢者を対象に生活援助等のサービスを提供しました。							
考 察	前年度と比較して訪問件数は横ばい状態で、事業PRが課題となっています。							
実 績	1. 利用者 6名 2. サービス提供月別延べ件数							
	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	(利用者数)	(6)	(6)	(5)	(4)	(4)	(6)	(7)
	訪問件数	30	30	27	17	22	31	39
	区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
	(利用者数)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(68)	
訪問件数	31	27	27	28	27	336		

(2) 障害福祉サービス関連の取り組み

①移動支援事業の実施

目的と概要	市からの委託により、障害福祉サービス介護給付費支給決定を受けた心身障害者（児）等に対し、移動支援等のホームヘルプサービスを提供しました。							
考 察	前年度と比較して訪問件数は横ばい状態で、事業PRが課題となっています。							
実 績	1. 契約利用者数 1名 2. 月別延べ件数							
	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	(利用者数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
	移動支援	10	13	14	15	13	12	13
	区 分	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
	(利用者数)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(12)	
移動支援	12	13	12	11	13	151		

②-1 山武市福祉作業所の経営（自立訓練（生活訓練）の実施）

目的と概要	利用者に、生活訓練（作業的訓練含む）を通して、日常生活の能力を向上するための支援や相談支援を実施し、社会的自立に向けての援助サービスを提供するため千葉県指定を受けていますが、利用者がいませんでした。
在籍者	0名
延出席者数	0名
開所日数	0日
職員体制	管理者 1名（社協事務局職員が兼務）※就労B型と兼務 サービス管理責任者 1名（作業所常勤職員より選出）※就労B型と兼務 臨時職員等 2名（常勤1名・非常勤1名）

②-2 山武市福祉作業所の経営（就労継続支援B型の実施）

目的と概要	利用者に、作業訓練並びに生活訓練を通して、日常生活の充実と就労に関する支援を含めた社会的自立に向けての援助サービスを提供しました。
在籍者	成東13名（うち山武作業所へ1名・松尾作業所へ1名異動、1名退所） 山武12名（うち1名退所） 松尾16名（うち2名退所）
延出席者数	6,595名（成東2,039名 山武1,940名 松尾2,616名）
開所日数	成東237日（7月26日から7月29日までコロナ感染防止のため休所） 山武241日 松尾238日（2月8日から2月10日までコロナ感染防止のため休所）
職員体制	管理者 1名（社協事務局職員が兼務） サービス管理責任者 1名（作業所常勤職員より選出） 常勤職員 3名（サービス管理責任者を除く） 臨時職員等 6名（常勤3名・非常勤3名）

<職員研修>

実施月日	行事名称	行事等の内容	参加者数
11月10日 11月14日 11月22日 12月21日	千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修	○職員のメンタルヘルス ○虐待につながる身体拘束の防止	9名
11月28日	内部研修	○新規採用者への身体拘束等に関する研修	対象1名
3月18日	福祉作業所職員研修会	○発達障害の特性理解と支援について及び就労継続支援B型事業所の事例検討	11名
月1回	月例作業所支援者会議	○各福祉作業所において、月毎の支援を総括し、課題について検証する。 ○支援員の虐待防止・権利擁護に関する事項を、自己チェックシートを活用し相互確認する。	全支援員

<代表者会議（全11回）>

目的と概要	市内3か所設置されている福祉作業所の情報を共有することを目的に代表者会議を開催しました。
考 察	令和4年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の取り組みや、コロナ禍でのサービス提供について話し合う機会を持ち、情報の共有に努めました。今後も感染防止しながら、利用者が安全安心に利用できるように努めていきます。
実施回数	11回
延べ人数	延べ44名
主な内容	1. コロナ禍における支援サービス提供について (1) 感染防止について (2) 提供サービスについて 2. 送迎サービスの運行について 3. 賃金向上についてなど

<その他>

- ①入所希望の見学者や関係各機関の見学希望者の受入等
- ②相談支援事業者との調整
- ③福祉機関・教育機関などから、職場体験や実習生の受け入れの実施

<指定障害福祉サービス事業者等への実地指導>

対象事業所	自立訓練（生活訓練）
実施場所	山武市山武福祉作業所
期 日	令和4年6月22日（水）
実施者	千葉県（山武健康福祉センター監査指導課 2名）
出席者	3名（管理者・サービス管理責任者・主任支援員）
主な内容	<指導調書に基づく実地指導> (1) 施設の確認 (2) 従業者等の勤務体制の確認 (3) 指導調書に基づき状況確認 <指摘事項> (1) 運営に関する基準 ①身体拘束等の適正化のための対策 ②虐待の防止のための対策

<成東福祉作業所>

実施月日	行事名称	行事等の内容
4	1	年度始め
	8	お花見会 所近隣花見散策、所内お茶会実施
5	6	端午の節句お茶会 所内にてお茶会
	27	昼食会 所内にて食事会
6	7	お茶会 所内にてお茶会
	13	消防訓練(避難訓練) 社会福祉協議会・マザーズ・作業所合同訓練
7	6	緑のカーテン設置作業 朝顔
	7	七夕お茶会 所内にてお茶会
	22	昼食会 所内にて食事会
8	17	納涼会 所内にてお茶会
9	9	お月見茶会 所内にてお茶会
	16	昼食会 所内にて食事会
10	24	ハロウィンお茶会 所内にてお茶会
	18・21	利用者健康診断 高橋医院
11	18	昼食会 所内にて食事会
12	12	作業所見学週間 保護者見学有
	14	消防訓練(避難訓練) 社会福祉協議会・マザーズ・作業所合同訓練
	23	クリスマス会 (調理実習を兼ねる)
	27	利用者仕事納め 納会・食事会
	28～ 1/4	利用者冬期休所
1	5	利用者仕事初め
	6	新年会 お楽しみ昼食会・お茶会
	19	ビーバー号歯科検診 県歯科医師会による歯科検診
	20	昼食会 所内にて食事会
2	3	節分お茶会 所内にてお茶会
3	3	桃の節句会 所内にてお茶会
	20	昼食会 所内にて食事会

※調理実習：隔月1回実施

※マザーズホームとの合同避難訓練を実施（月1回）

※毎日ラジオ体操を実施

<山武福祉作業所>

実施月日	行事名称	行事等の内容	
4	1	年度始め	
	6	お花見お茶会	さんぶの森公園散策 所内にてお茶会
	18	お楽しみ昼食	カレーパーティー
5	2	お楽しみお茶会	端午の節句茶会 (所内)
	18	畑作活動	『収穫祭』に向けて (さつま芋苗植え)
	20	調理実習	所内調理活動
	30	地震避難訓練	自主訓練
6	2	お楽しみお茶会	利用者リクエストお茶会
	24	バーベキュー	※調理実習を兼ねる (所内)
7	7	お楽しみお茶会	七夕会 (所内) / 5日: 利用者準備活動
	22	調理実習	所内調理活動
8	10	お楽しみお茶会	納涼会 (所内)
	19	お楽しみ昼食	カレーパーティー
9	15	お楽しみお茶会	(所内)
	22	地震避難訓練	自主訓練
	22	調理実習	所内調理活動
10	12	お楽しみ昼食会・お茶会	ハロウィンパーティー (所内)
	21	お楽しみお茶会	(所内)
11	9	お楽しみお茶会	『収穫祭 (焼き芋の会)』 (所内)
	22	調理実習	所内調理活動
12	8	お楽しみお茶会	(所内)
	12~16	作業所見学週間	保護者・グループホーム職員見学あり
	22	お楽しみ昼食会	クリスマス会 (所内)
	28~ 1/4	利用者冬季休所	
1	5	利用者仕事始め	
	10	お楽しみお茶会	お餅の会 (所内)
	5, 12, 26	利用者健康診断	さんぶの森診療所
	19	利用者歯科検診	ビーバー号による歯科検診
	20	お楽しみ昼食	カレーパーティー (所内)
2	3	お楽しみお茶会	節分の会 (所内)
	17	お楽しみ昼食	(所内)

	22	消防避難訓練(消火訓練)	自主訓練 (※コロナウイルス感染対策のため、通報訓練のみ山武分署の指導)
3	3	お楽しみお茶会	ひな祭り会 (所内)
	17	調理実習	所内調理活動
	24	お楽しみ昼食	年度末食事会 (所内)

※毎日、テレビ体操を2回実施

※オライはすぬま・緑の風・山武市観光協会等への製品の委託販売
(PPバンドかご・缶バッチ・ジャム・リサイクル椅子・手差し 等)

<松尾福祉作業所>

実施月日	行事名称	行事等の内容
4	1 年度始め	
	5 花見会	桜を見ながらウォーキング 食事会
5	2 端午の節句	所内にてお茶会
	19 調理実習	調理実習
6	15 お楽しみ食事会	所内にて食事会
7	7 七夕会	お楽しみ食事会
	20 調理実習	調理実習
8	10 納涼会	お楽しみ食事会
9	13 お楽しみ食事会	所内にて食事会
	30 送別会	所内にてお茶会
10	14 お楽しみ食事会	所内にて食事会
	28 ハロウィンパーティー	所内にてお茶会
11	22 お楽しみ食事会	所内にて食事会
	18～ 12/13 利用者健康診断	松尾クリニックにて実施
12	8 調理実習	調理実習
	12～ 16 見学週間	保護者・利用者の見学
	23 クリスマス会	所内にて食事会
	27 利用者仕事納め	大掃除、お茶会
	28～4 冬季休所	
1	5 利用者仕事始め	
	11 新年会	所内にて食事会
	19 利用者歯科検診	ビーバー号による健診
2	3 節分の会	豆まき、お茶会実施
	22 お楽しみ食事会	所内にて食事会
3	3 ひな祭りの会	所内にてお茶会
	15 調理実習	調理実習
	24 年度末納会	所内にて食事会

※買い物体験・レクリエーションを実施

※調理実習を実施

※健康増進・リフレッシュのため毎日2回の体操を実施

③-1 山武市簡易マザーズホームの経営（児童発達支援事業の実施）

目的と概要	心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応するための活動を実施しました。	
考 察	新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの療育となり、計画通りにすすめることが難しい部分も多くありました。対応や内容を変更して行事等も行いましたが、今後も更なる工夫が必要だと考えています。	
登録者数	30名	
利用別在籍数	児童発達支援事業：30名	
延べ利用者数	1,578名	
開所日数	240日（8月22日はコロナ感染防止のため休所）	
職員体制	管理者 1名（社協事務局職員が兼務） 児童発達支援管理責任者 1名 常勤職員 4名（児童発達支援管理責任者を除く）	
事業実績	活 動 名	実施回数
	理学療法訓練（鶴岡先生 大槻先生）	12
	心理発達検査・相談（島貫先生）	12
	言語発達指導（西本先生）	12
	作業療法訓練（小林先生）	6
	音楽療法訓練（宍戸先生 小林先生）	11
	内科健診（高橋先生）	2
	歯科健診（堀角先生 他）	1
	摂食嚥下指導（堀角先生 他）	6
	作業所との交流会	0
	育児サークルとの交流会	0
	避難訓練（自主訓練）	12
	幼・保・学校への訪問、見学等、連携	6
	保護者会活動（紙面にて、総会・勉強会、年末清掃）	6
	園外保育（バス遠足2回）	0
	夏まつり	1
	レク大会	1
クリスマス会	1	
卒園を祝う会（児童発達支援事業）	1	
マザーズ主催研修会	0	

③ー 2 山武市簡易マザーズホームの経営（放課後等デイサービスの実施）

目的と概要	心身の発達に支援を必要とするお子さんに対し、いろいろな遊びや経験を重ねながら日常生活における基本的動作を習得し、集団に対応するための活動を実施しました。	
考 察	新型コロナウイルス感染症の対策をしながらの療育となり、計画通りにすすめることが難しい部分も多くありました。対応や内容を変更して行事等も行いましたが、今後も更なる工夫が必要だと考えています。	
登録者数	19名	
利用別在籍数	みつばち：14名 おひさま：4名（うち3名はみつばちにも在籍） PT：2名 ST：2名	
延べ利用者数	513名	
開所日数	240日（8月22日はコロナ感染防止のため休所）	
職員体制	管理者 1名（社協事務局職員が兼務） 児童発達支援管理責任者 1名 常勤職員 4名（児童発達支援管理責任者を除く）	
事業実績	活 動 名	実施回数
	理学療法訓練（鶴岡先生 大槻先生）	12
	言語発達指導（西本先生）	4
	作業療法訓練（小林先生）	6
	避難訓練	1

4. 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 組織・運営に関すること

①評議員会・理事会・監査機能の充実

<評議員会（全3回）>

定 時 評 議 員 会	期日等	令和4年5月25日（水） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者18名・会長・監事1名 欠席者7名（定数25名）
	議 題	議案第1号 理事の選任について 議案第2号 令和3年度事業報告及び決算について

第 2 回	期日等	令和5年2月 2日（木） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者17名・会長 欠席者8名（定数25名）
	議 題	(1) 理事の選任について (2) 令和4年度資金収支補正予算について

第 3 回	期日等	令和5年3月20日（月） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者18名・会長 欠席者7名（定数25名）
	議 題	(1) 議案第1号 令和5年度事業計画及び資金収支予算について
	報告事項	(1) 第4次地域福祉活動計画について

<理事会（全7回）>

第 1 回	期日等	令和4年4月27日（水） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事12名・監事2名 欠席者理事2名（定数14名）
	議 題	(1) 評議員候補者の選定について (2) 令和3年度事業報告及び資金収支決算について
	報告事項	(1) 山武市青少年育成市民会議委員の選出について (2) 後援の承認について

第 2 回	期日等	令和4年6月24日（金） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事13名・監事2名 欠席者理事2名（定数15名）
	議 題	(1) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会山武市福祉作業所運営規程の一部改正について (2) 第14回山武市健康福祉まつりの実施について (3) チャリティイベントの実施について (4) 第17回山武市社会福祉大会の開催について
	報告事項	(1) 後援の承認について

第 3 回	期日等	令和4年8月10日（水） （書面による決議）
	出欠等	理事15名・監事2名（定数15名）
	議 題	(1) 第14回山武市健康福祉まつりの中止について

第 4 回	期日等	令和4年9月30日(金) 於:成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事11名・監事2名 欠席者理事4名 (定数15名)
	議 題	(1) 職務執行状況の報告について (2) 第17回山武市社会福祉大会における山武市社会福祉協議会長表彰及び感謝の決定について (3) 第17回山武市社会福祉大会の運営について (4) 共同募金運動の実施について
	報告事項	(1) 後援の承認について

第 5 回	期日等	令和4年11月25日(金) 於:成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事14名・監事2名 欠席者理事1名 (定数15名)
	議 題	(1) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について (2) 令和4年度歳末たすけあい募金による要支援世帯見舞金の配分について (3) 令和4年度歳末たすけあい募金による福祉活動団体支援事業助成金の配分について
	報告事項	(1) 後援の承認について

第 6 回	期日等	令和5年1月27日(金) 於:成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事9名・監事2名 欠席者理事6名 (定数15名)
	議 題	(1) 評議員候補者の選定について (2) 令和4年度資金収支補正予算について

第 7 回	期日等	令和5年3月14日(火) 於:成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者理事12名・監事2名 欠席者理事3名 (定数15名)
	議 題	(1) 職務執行状況の報告について (2) 役員等賠償責任保険契約の締結について (3) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会就業規則の一部改正について (4) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正について (5) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会職員の育児休業等に関する規程の全部改正について (6) 社会福祉法人山武市社会福祉協議会福祉用具等貸出事業規程の一部改正について (7) 令和5年度事業計画及び資金収支予算について
	報告事項	(1) 第4次地域福祉活動計画について (2) 後援の承認について

<監事会>

期日等	令和4年4月21日(木) 於:成東老人福祉センター 第1会議室
出欠等	出席者2名・会長
内 容	令和3年度事業及び会計に関すること

<評議員選任・解任委員会（全2回）>

第 1 回	期日等	令和4年5月20日（金） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者4名・会長
	内 容	（1）評議員の選任について

第 2 回	期日等	令和5年1月27日（金） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者3名・会長 欠席者1名
	内 容	（1）評議員の選任について

②委員会機能の充実

<企画財政委員会>

期日等	令和4年6月3日（金） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
出欠等	出席者7名 欠席1名
議 題	（1）委員長及び副委員長の選出について （2）第17回山武市社会福祉大会について （3）チャリティイベントについて

<広報委員会（全8回）>

第 1 回	期日等	令和4年4月28日（木） 於：成東老人福祉センター 大会議室
	出欠等	出席者7名 欠席1名
	議 題	（1）会報第65号（R4年夏号）の発行について

第 2 回	期日等	令和4年5月30日（月） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者8名
	議 題	（1）会報第65号の校正について

第 3 回	期日等	令和4年7月13日（水） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者8名
	議 題	（1）会報第66号（R4年秋号）の発行について

第 4 回	期日等	令和4年9月2日（金） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者8名
	議 題	（1）会報第66号の校正について

第 5 回	期日等	令和4年10月6日（木） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者8名
	議 題	（1）会報第67号（R5年新年号）の発行について

第 6 回	期日等	令和4年11月28日（月） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者7名 欠席1名
	議 題	（1）会報第67号の校正について

第 7 回	期日等	令和5年1月19日（木） 於：成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者8名
	議 題	（1）会報第68号（R5年春号）の発行について

第 8 回	期日等	令和5年3月1日(水) 於:成東老人福祉センター 第1会議室
	出欠等	出席者8名
	議 題	(1) 会報第68号の校正について

<地域福祉委員会>

期日等	令和4年6月14日(火) 於:成東老人福祉センター 第1会議室
出欠等	出席者8名
議 題	(1) 第14回山武市健康福祉まつりについて (2) その他

③働き方改革への対応

目的と概要	高年齢者雇用安定法による定年年齢の引き上げなどについて、専門家への相談及び行政へ予算措置などの働きかけをしました。
考 察	高年齢者雇用安定法による定年年齢について、段階的に65歳まで引き上げ及び70歳までの就業確保ができるように就業規則を改正しました。今後は、行政に非正規職員の処遇改善について働きかけていきたいと考えます。
実 績	・行政へ職員の定年年齢の引き上げ及び予算措置についての働きかけ ・65歳超雇用推進プランナーへの高年齢者雇用に関する相談 期 日 令和5年2月8日(水) 場 所 成東老人福祉センター

④社会福祉協議会発展・強化計画の推進

目的と概要	社会福祉協議会の将来像や目的を明らかにし、組織・事業・財務等に関する取り組みを明示した5か年計画を策定しました。
考 察	本年度の地域福祉活動計画策定については、発展・強化計画との整合性を保てるように意識し進めた。地域福祉活動計画(市民の行動計画)を下支えする社協組織の計画ということを念頭におきすすめるべきと考えます。
実 績	<第1次山武市社会福祉協議会発展・強化計画> ○第4次地域福祉活動計画の策定との整合性を確認 ○広報きずなでSDGs活動を通じた各部署の紹介掲載 ○ホームページの表現変更 「つながりづくりまちづくりあなたに寄りそう山武市社会福祉協議会」

⑤事務所の検討

目的と概要	事務局のある成東老人福祉センターは、老朽化により市では機能移転後建物を撤去する予定であるため、社会福祉協議会の新たな拠点となる事務所の確保が急務となっています。
考 察	事務局だけではなく、社会福祉協議会全体として、事務事業の効率を考慮した拠点の確保ができるように、定期的に行政と協議する機会を持ち、社会福祉協議会としての要望を伝えていく必要があると考えます。
実 績	<行政への働きかけ> ○社会福祉協議会及び簡易マザーズホームが必要とする面積案の要望

(2) 財務に関すること

①月次収支状況の分析

目的と概要	毎月末日における合計残高試算表及びサービス区分ごとの月次試算表を作成し、収支状況の確認及び分析を行いました。
考 察	月次試算表、合計残高試算表を毎月作成し預貯金残高の確認等を行い適切な財産管理を行うことができました。また、年度末において予算の執行状況における事業達成状況を迅速に把握することができ決算時の負担軽減を図ることができました。 令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響による会費（特に賛助会費）の減少、事業縮小による支出の減少がみられました。
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・現金及び預貯金の確認（毎月） ・貸借対照表科目の整理（毎月） ・合計残高試算表の作成（毎月） ・月次試算表の作成（毎月）

②指定管理施設の運営分析

目的と概要	指定管理者として適切に指定管理施設の運営ができているか否か分析を行いました。
考 察	再度（令和4年度から令和8年度まで）指定管理者として選定されたため、計画、市条例等に従い概ね適切に管理運営を行いました。
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・市への月次報告書の提出 ・年度評価の実施

③会員加入促進（会員募集）

目的と概要	社会福祉協議会の財源は会費、補助金、共同募金配分金が主なものである中で特に自主財源確保の基盤として、山武市に居住する方並びに社会福祉に関心を有し本会の趣旨に賛同する方に対し会員募集を行いました。																				
考 察	一般会費については、区・自治会活動が年々縮小傾向にあることが実績減の要因と考えます。未協力地区への再依頼は、引き続き実施します。 賛助会費は、コロナ禍前よりマイクロバスの貸出実績は減少していますが、昨年度より貸出が増加したことにより、賛助会費も増加傾向にあります。																				
実 績	<p>〈会員の種類〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>会員数</th> <th>会費額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会員</td> <td>10,370</td> <td>4,713,735</td> <td>市内各世帯</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>63</td> <td>138,000</td> <td>役職員・マイクロバス</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>篤志家・施設</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,433</td> <td>4,851,735</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会員＜市内各世帯＞ 一口 500円 ・賛助会員＜役員・個人＞ 一口1,000円 ・特別会員＜篤志家・会社＞ 一口5,000円 	種類	会員数	会費額(円)	備考	一般会員	10,370	4,713,735	市内各世帯	賛助会員	63	138,000	役職員・マイクロバス	特別会員	0	0	篤志家・施設	計	10,433	4,851,735	
種類	会員数	会費額(円)	備考																		
一般会員	10,370	4,713,735	市内各世帯																		
賛助会員	63	138,000	役職員・マイクロバス																		
特別会員	0	0	篤志家・施設																		
計	10,433	4,851,735																			

④赤い羽根共同募金運動の実施

目的と概要	地域の誰もが幸せに安全で安心して暮らしていける明るい社会を実現するために思いやりとたすけあいの心を持ち寄る運動として募金活動を実施しました。																															
考 察	昨年引き続きコロナ禍の影響で街頭募金、イベント募金は中止しましたが、その他については、例年どおり実施できました。今後も募集活動の工夫が必要であると考えます。																															
会議等	①令和4年度第1回支会事務担当者会議 令和4年4月15日(金) ②令和4年度第2回支会事務担当者会議 令和4年8月25日(木) ③令和4年度第1回支会事務局長会議 令和4年7月 8日(金) ④令和4年度第2回支会事務局長会議 令和5年3月 6日(月) ⑤令和4年度ブロック別オンライン会議 令和5年1月17日(火) ⑥令和4年度山武市支会の訪問調査 令和5年2月13日(月)																															
実 績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数等</th> <th>募金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>10,145件</td> <td>4,516,443円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>0か所</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>法人募金</td> <td>332法人</td> <td>1,511,000円</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>15校</td> <td>133,872円</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>市役所・社協</td> <td>44,996円</td> </tr> <tr> <td>イベント募金</td> <td>0件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>個人募金(篤志家)</td> <td>3件</td> <td>4,500円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>54件</td> <td>148,034円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>6,358,845円</td> </tr> </tbody> </table>		種別	件数等	募金額	戸別募金	10,145件	4,516,443円	街頭募金	0か所	0円	法人募金	332法人	1,511,000円	学校募金	15校	133,872円	職域募金	市役所・社協	44,996円	イベント募金	0件	0円	個人募金(篤志家)	3件	4,500円	その他	54件	148,034円	合 計		6,358,845円
種別	件数等	募金額																														
戸別募金	10,145件	4,516,443円																														
街頭募金	0か所	0円																														
法人募金	332法人	1,511,000円																														
学校募金	15校	133,872円																														
職域募金	市役所・社協	44,996円																														
イベント募金	0件	0円																														
個人募金(篤志家)	3件	4,500円																														
その他	54件	148,034円																														
合 計		6,358,845円																														

<法人募金>

実施日	令和4年11月～
場所	市内全域
活動者	13地区社会福祉協議会福祉推進員

⑤歳末たすけあい募金運動の実施

目的と概要	<p>共同募金運動の一環として「新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう、市民の参加や理解を得て様々な福祉活動を重点的に展開する。」ことを目的に募金活動を実施しました。</p> <p>山武市では特に支援を必要としている在宅者への歳末見舞金贈呈事業及び福祉関係団体の活動費助成などを行いました。</p>																							
考 察	<p>コロナ禍ですが、募金活動は例年どおり実施することができました。事業についても見舞金の配布及び団体助成は例年どおり実施することができました。</p>																							
募金実績	<table border="1" data-bbox="432 611 1382 909"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>件数 (件)</th> <th>募金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸別募金</td> <td>10,217</td> <td>1,874,668円</td> </tr> <tr> <td>その他の募金</td> <td>2</td> <td>10,006円</td> </tr> <tr> <td>前年度繰越金</td> <td></td> <td>345,364円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>2,230,038円</td> </tr> </tbody> </table>			種 別	件数 (件)	募金額	戸別募金	10,217	1,874,668円	その他の募金	2	10,006円	前年度繰越金		345,364円	合 計		2,230,038円						
種 別	件数 (件)	募金額																						
戸別募金	10,217	1,874,668円																						
その他の募金	2	10,006円																						
前年度繰越金		345,364円																						
合 計		2,230,038円																						
助成実績	<table border="1" data-bbox="416 987 1385 1529"> <thead> <tr> <th>助成先</th> <th>件数等</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅者見舞金</td> <td>128件</td> <td>640,000円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td>21,324円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動団体支援事業</td> <td>40団体</td> <td>818,744円</td> </tr> <tr> <td>剰余金 (令和5年度社協事業へ配分)</td> <td></td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>繰越金 (令和5年度歳末事業へ配分)</td> <td></td> <td>349,970円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>2,230,038円</td> </tr> </tbody> </table>			助成先	件数等	助成額	在宅者見舞金	128件	640,000円	経費		21,324円	福祉活動団体支援事業	40団体	818,744円	剰余金 (令和5年度社協事業へ配分)		400,000円	繰越金 (令和5年度歳末事業へ配分)		349,970円	合 計		2,230,038円
助成先	件数等	助成額																						
在宅者見舞金	128件	640,000円																						
経費		21,324円																						
福祉活動団体支援事業	40団体	818,744円																						
剰余金 (令和5年度社協事業へ配分)		400,000円																						
繰越金 (令和5年度歳末事業へ配分)		349,970円																						
合 計		2,230,038円																						

⑥日本赤十字社社資募集運動の実施

目的と概要	生命と健康を守り、人間の尊重を確保するとともに、全ての国民間の相互の理解、友情、協力および堅固な平和を助長すること等を目的とし、その目的を果たすための事業活動資金としての社資募集運動を実施しました。																	
考 察	コロナウイルス感染防止に努め、社資募集を実施しました。今後も法人社資の実績が増えるよう努めます。																	
社資実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数等</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会費</td> <td>9, 978件</td> <td>4, 606, 550円</td> </tr> <tr> <td>法人会費</td> <td>216件</td> <td>745, 500円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3件</td> <td>409円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10, 197件</td> <td>5, 352, 459円</td> </tr> </tbody> </table>			種別	件数等	金額	一般会費	9, 978件	4, 606, 550円	法人会費	216件	745, 500円	その他	3件	409円	合 計	10, 197件	5, 352, 459円
種別	件数等	金額																
一般会費	9, 978件	4, 606, 550円																
法人会費	216件	745, 500円																
その他	3件	409円																
合 計	10, 197件	5, 352, 459円																

⑦チャリティイベントの実施

目的と概要	市民の主体と参加によるイベントを開催し、福祉に関する意識をもっていたくとともに、市民相互の親睦と交流及び健康の保持を図るため実施した。		
考 察	コロナウイルス感染症のため3年ぶりの開催となりましたが、今後もチャリティイベントの実施を継続していき財源確保に努めます。		
実 績	<p>①第15回チャリティゴルフコンペ</p> <p>期 日 令和4年10月27日(木)</p> <p>場 所 ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部</p> <p>参 加 者 102名</p> <p>寄 付 金 140, 985円</p> <p>協賛企業 10社</p> <p>実行委員 13名 【実行委員会2回】</p> <p>②第9回チャリティグラウンドゴルフ大会</p> <p>期 日 令和4年10月20日(木)</p> <p>場 所 成東総合運動公園</p> <p>参 加 者 137名</p> <p>寄 付 金 45, 802円</p> <p>実行委員 13名 【実行委員会2回】</p>		

⑧自主財源の確保（その他）

目的と概要	財務基盤強化に向け自主財源の確保を積極的に行うとともに、省エネ対策と無駄を省いた事務の合理化を行い適切な支出に努めました。
考 察	ミニ福祉バザーを開催し自主財源の確保に努めました。また職員一丸となり省エネ対策に取り組みました。 従来の実習生随時受入れに加え、新たに城西国際大学看護学生の受入れを行ない自主財源が増加しました。
実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・プチ福祉バザーの開催（随時） ・実習生（社会福祉士養成）の受入れ（随時） ・外部研修の講師としての職員派遣（随時） ・関係組織委員会、調査会等の委員の受任（随時） ・省エネ対策（通年）

⑨寄附金品

区分	件数	金額	備考
現 金	32件	1,072,982円	
クオカード	1件	108,000円	3,000円×36枚 ※指定寄附 福祉作業所利用者へ配付
物 品	140件	内訳：米・野菜・食料品・日用品等	
その他（資源リサイクル）	プルタブ・アルミ缶・ペットボトルキャップ等		
考 察	昨年度に引き続き物品（特にお米）の寄附が多く見られました。いまだ感染が収束しないコロナ禍において生活が苦しい方々へ寄付者の意向どおりお米を支給することができました。		

(3) 人材確保・育成に関すること

①人材確保・育成（実習生の受け入れ）

目的と概要	各資格取得プログラムの一環や福祉現場の体験学習として、社会福祉活動の各現場で実習生の受入を行いました。
-------	---

<社会福祉士資格>

所 属	人 員	期 間	内 容
日本福祉大学福祉経営学部	1名	7/13～10/4 (24日間 180時間以上)	全部署における援助技術現場実習
東京通信大学人間福祉学部	1名	7/14～9/9 (24日間 180時間以上)	全部署における援助技術現場実習
城西国際大学福祉総合学部	1名	10/3～1/30 (24日間 180時間以上)	全部署における援助技術現場実習
大原医療秘書福祉保育専門学校	1名	7/21～3/13 (24日間 180時間以上)	全部署における援助技術現場実習

<臨地実習>

所 属	人 員	期 間	内 容
城西国際大学看護学部	55名	6/18～1/11 (3日間延べ165日)	全部署における現場体験実習

②職員研修会の実施

目的と概要	災害ボランティアセンター立ち上げについての理解を深めるため内部研修会を実施しました。
考 察	実際の災害を想定し、センター立ち上げ訓練を、各役割毎に分かれて担当業務を再度確認することができ、業務内容を理解することができました。今後もテーマを設けて内部研修を実施していきます。
期 日	①令和4年9月9日（金） ②令和4年9月22日（木）
参加者	①19名 ②18名
内 容	○山武市災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

(4) 広報・啓発に関すること

①広報誌「きずな」の発行

目的と概要	社協事業PR及び寄付、募金の報告などを掲載し市民へ情報発信しました。
考 察	コロナ禍の影響により紙面を縮小しましたが、計画どおり発行することができました。
発行回数	4回（4月・7月・10月・1月）
発行部数	1回につき（4月・7月・10月）約14,000部、（1月）約14,500部
配布先	市内全世帯（新聞折込み）・市内公共機関等
印刷業者	三陽メディア株式会社（成田市）

②リーフレット・チラシの作成

目的と概要	社会福祉協議会及び事業への理解と周知を図ることを目的にリーフレットやチラシを作成しました。
考 察	既存の「山武市社会福祉協議会のしおり」について、事業内容の見直しを行い、関係団体や実習生などに配布し、社会福祉協議会の周知を図りました。
実 績	・更新数 1回

③ホームページの充実

更新回数	25回
目的と概要	社協事業に関する情報を広く発信しました。
考 察	随時、更新することができました。

④第 17 回山武市社会福祉大会の開催

目的と概要	<p>多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表するため実施しました。</p> <p>また、市内小中学生から地域ぐるみ福祉のまちづくり作品（作文・標語・ポスター）を募集し、福祉の啓発を図るとともに受賞者への表彰を行いました。</p>												
考 察	<p>令和 4 年度は、例年行っています表彰の他に、地域で活動している団体の発表や日頃福祉活動をされている方々へ感謝するため抽選会を実施するなど、新しい形の大会にすることができました。</p> <p>また、職員会議において、社会福祉協議会活動の P R や抽選会の方法などについて検討したことで、大会がスムーズに進行することができたと考えます。</p>												
主 催	山武市・山武市社会福祉協議会												
期 日	令和 4 年 1 1 月 1 6 日（水）												
会 場	成東文化会館のぎくプラザ												
参加者	1 6 0 名												
内 容	<p><大会></p> <p>○表彰</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">山武市社会福祉協議会長表彰状贈呈</td> <td style="text-align: right;">1 2 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">山武市社会福祉協議会感謝状贈呈</td> <td style="text-align: right;">7 4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">標語・作文・ポスター入賞者表彰及び記念品贈呈</td> <td style="text-align: right;">9 名</td> </tr> </table> <p>○地域活動発表</p> <p style="padding-left: 20px;">成東地区社会福祉協議会 こだまお話会（パネルシアター） 山武市社会福祉協議会（P R 動画）</p> <p>○おたのしみ抽選会</p> <p><展示></p> <p>○期間 令和 4 年 1 1 月 1 0 日（木）から 1 1 月 1 6 日（水）</p> <p>○場所 成東文化会館のぎくプラザ ふるさとコーナー</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみ福祉のまちづくり作品（作文・標語・ポスター） ・山武市社会福祉協議会事業紹介 ・山武市福祉作業所紹介 ・山武市簡易マザーズホーム紹介 <p><会議></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○企画財政委員会</td> <td style="text-align: right;">1 回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○職員全体会議</td> <td style="text-align: right;">2 回 延べ 4 0 名</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">○職員打ち合わせ他</td> <td style="text-align: right;">5 回 延べ 4 2 名</td> </tr> </table>	山武市社会福祉協議会長表彰状贈呈	1 2 名	山武市社会福祉協議会感謝状贈呈	7 4 名	標語・作文・ポスター入賞者表彰及び記念品贈呈	9 名	○企画財政委員会	1 回	○職員全体会議	2 回 延べ 4 0 名	○職員打ち合わせ他	5 回 延べ 4 2 名
山武市社会福祉協議会長表彰状贈呈	1 2 名												
山武市社会福祉協議会感謝状贈呈	7 4 名												
標語・作文・ポスター入賞者表彰及び記念品贈呈	9 名												
○企画財政委員会	1 回												
○職員全体会議	2 回 延べ 4 0 名												
○職員打ち合わせ他	5 回 延べ 4 2 名												

⑤社協福祉活動の出前講座の実施

目的と概要	地域に出かけ、出前講座を行うことにより市民の福祉に対する理解を深めることを目的に実施しました。
考 察	千葉県立松尾高等学校 1 学年生徒を対象にボランティアについて講義を行いました。
日 時	令和 4 年 6 月 2 3 日 (木) 1 3 時 3 0 分～1 4 時 3 0 分
参加者	1 5 名
内 容	ボランティア入門について講義 ボランティアの歴史、定義、活動の 4 原則、知っておきたいポイント等

⑥イメージキャラクター「さんむくん」の着ぐるみ作製

目的と概要	発展強化計画策定にあたり「社協の認知度の低さ」が課題となっていました。山武市社会福祉協議会の認知度向上のため着ぐるみを作製しました。
考 察	事業や社会福祉協議会 P R 動画の作製等に活用し社会福祉協議会の P R 活動に役立てました。
実 績	完成までに行った打合せ回数 (123 回メール) 活用実績 (市社会福祉大会・チャリティーゴルフ・社会福祉協議会職員紹介動画)

(5) 福祉団体の支援

目的と概要	社会福祉協議会では、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、赤十字奉仕団、ゴールドクラブ連合会の事務局を担い、支援を行いました。
考 察	新型コロナウイルス感染症防止のため、各団体の事業は殆ど中止となりました。

①山武市ボランティア連絡協議会

実 績	<p>会員数 336名（前年度：354名） 内訳：27グループ 323名 個人13名</p> <p>○第17回総会（文書にて承認を得る。） ○実施事業・役員会議 7回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶べり会 40名参加 ・災害支援ボランティア講座（社協と共催）36名参加 ・ボランティア活動発表会 67名参加
-----	---

②山武市身体障害者福祉会

実 績	<p>会員数 37名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業及び会計監査（4/4） ・総会（4/25） ・役員会3回（4/4、7/22、10/3） ・健康体操教室（12/5） ・友愛訪問（12月全会員宅訪問） ・新年会（1/23） ・いちご狩り（3/6） ・千葉県障害者スポーツ大会への参加 ・千葉県在宅重度障害者慰問品贈呈事業（12月） <p>※資源ごみ回収運動実施 ※学校福祉教育事業協力 ※会員増員運動実施</p>
-----	--

③山武市手をつなぐ親の会

実 績	<p>会員数 50名（賛助会員含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会（5月20日） ・クリスマス会実施（12月25日） ・役員・定例会（毎月）の開催 ・山武郡市連絡協議会、千葉県育成会主催事業等への参加
-----	--

④山武市赤十字奉仕団

実 績	<p>団員 30名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業及び会計監査 (4/21) ・ 総会 (5/30) ・ 役員会6回 (5/30、6/27、8/23、10/31、12/3、2/7) ・ 法人社資募集活動 (7月) ・ 山武市一日赤十字 (11/22) ・ 視察研修 (3/7) ・ 東南ブロック事業への参加 ・ 千葉県支部事業への参加
-----	---

⑤山武市ゴールドクラブ連合会

実 績	<p>クラブ数 58クラブ 会員1,882名</p> <p>(会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員会6回 (4/13、6/20、8/4、9/21、10/28、2/21) ・ 専門部会14回 (4/22、5/12、5/31、6/15、6/29、7/4、7/6、7/8、9/5、9/14、11/15、11/24、1/11、3/6) <p>(市事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 囲碁・将棋大会 (6/23) ・ 県老連特選演芸会 (7/1) ・ スポーツ大会 (7/14、9/28) ・ いきいきわくわく教室 (9/9、11/29、1/12、3/7) ・ 親睦旅行 (10/12) ・ 山武市社会福祉大会 (11/16) ・ さんトレ講習会 (12/9) <p>(山武地区事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山武地区老人クラブ役員連合会総会 (6/21) ・ 山武地区高齢者ペタンク大会 (11/9) ・ 山武地区役職員県外研修 (12/13.14) ・ 山武地区高齢者グラウンドゴルフ大会 (12/16) <p>(県事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県なのはなペタンク大会 (11/6) ・ 千葉県高齢者グラウンドゴルフ大会 (11/25) ・ 老人クラブ大会 (2/14)
-----	---

(6) 第3次地域福祉活動計画の推進と第4次地域福祉活動計画の策定

①山武市地域福祉活動計画推進委員会

目的と概要	地域福祉活動計画に基づき地域住民の主体的な活動やコミュニティづくり活動の推進を行い、多様な地域福祉活動や住民活動の活性化に努めました。
考 察	「地域福祉推進助成事業」の申請団体が減っています。社会状況にもよりますが、地域福祉活動を行う市民を増やし、地域福祉計画の推進につなげたいと考えます。
実 績	<p><第3次山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会></p> <p>【第1回】 期 日 令和4年 6月29日(水) 場 所 山武市役所 第5会議室 出 欠 出席9名 内 容 (1) 山武市地域福祉活動推進助成事業について (2) 今年度のスケジュールについて (3) その他</p> <p>【第2回】※書面開催 内 容 (1) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画評価について (2) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画取組状況について (3) その他</p>

②計画の実践・評価・見直し体制の強化

目的と概要	地域福祉活動計画推進のための調査と評価を行いました。
考 察	第3次計画進捗状況の確認と評価を行い、計画を更に推進していきます。
実 績	<p>○山武市地域福祉計画・地域福祉活動計画関連事業評価の実施</p> <p>※令和3年度までの取り組みと事業評価を行いまとめたものを推進委員会の資料としました。</p>

③山武市地域福祉活動計画策定委員会

<p>目的と概要</p>	<p>第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定しました。 今期の計画内容から、小域の地域福祉活動の取り組みを明示することとなり、山武市では各地区社協の活動範囲を小地域として捉えまとめることとしました。</p>
<p>考 察</p>	<p>令和4年は市の総合計画の策定年度でもあり、その策定と足並みをそろえ進めることとなりました。地域福祉計画は、総合計画との整合性をもたせ、地域福祉活動計画は、地域福祉計画と社協発展強化計画との整合性を重視し策定しました。地域福祉活動計画は、市民の行動計画なので見やすいもの分かりやすい表現となるように工夫しました。</p>
<p>実 績</p>	<p><第1回策定委員会> 期 日 令和4年5月17日(火) 内 容 計画策定の方針</p> <p><関係団体ヒアリング> 期 日 令和4年8月～10月頃 対 象 地区社会福祉協議会、福祉関係団体など</p> <p><第2回策定委員会> 期 日 令和4年10月31日(月) 内 容 ・第3次計画の評価の報告 ・第3次計画の方向性・施策の体系の確認</p> <p><パブリックコメント> 期 日 令和5年2月6日～3月6日 閲覧場所 市ホームページ、社会福祉課</p> <p><第3回策定委員会> 期 日 令和5年2月17日(金) 内 容 ・パブリックコメントの実施について ・計画案の承認</p>